

方言談話の地域差と世代差に関する研究 成果報告書

井上 文子(編)

2014 年 3 月

ISSN 2185-0127

国立国語研究所共同研究報告 13-04

方言談話の地域差と世代差に関する研究
成果報告書

井上 文子(編)

2014 年 3 月

目次

ロールプレイによる方言談話収録調査	1
ペア入れ替え式ロールプレイ会話:場面1「文句談話」	11
ペア入れ替え式ロールプレイ会話:場面2「依頼談話」	24
ペア入れ替え式ロールプレイ会話:場面3「慰め談話」	41
ペア入れ替え式ロールプレイ会話:場面4「勧誘談話」	52
リーグ戦式ロールプレイ会話:場面1「出欠確認談話」	69
リーグ戦式ロールプレイ会話:場面2・3「申し出談話」	84

ロールプレイによる方言談話収録調査

井上 文子
(国立国語研究所)

1. 共同研究プロジェクト

1. 1. 目的

国立国語研究所の萌芽・発掘型共同研究プロジェクト「方言談話の地域差と世代差に関する研究」（平成 22 年 11 月～平成 25 年 10 月）では、将来的に方言談話の類型とその変容を解明する研究につながることを想定し、方言談話の地域差・世代差・性差・場面差などを考察するためのパイロット調査として、重点地域において談話データを収集し、談話構造や談話展開についての枠組みや仮説を立てることをめざしてきた。

談話を対象とした研究は、近年特に関心を集め、標準語談話だけではなく、方言談話を用いた研究も活発におこなわれるようになってきている。しかし、方言談話についてはまだ不明な点も多いため、本プロジェクトでは、方言研究と会話分析研究において積み重ねられてきた知見をふまえながら、ケーススタディとして、発話機能に基づく分析によって方言の談話構造と談話展開を明らかにしようと試みた。

1. 2. 組織

共同研究者

井上文子（国立国語研究所時空間変異研究系准教授）
三井はるみ（国立国語研究所理論・構造研究系助教）
熊谷智子（東京女子大学現代教養学部教授）
小西いずみ（広島大学大学院教育学研究科准教授）
高橋顕志（群馬県立女子大学文学部教授）
日高水穂（関西大学文学部教授）
松田美香（別府大学文学部教授）

研究協力者

森勇太（関西大学文学部助教）
酒井雅史（大阪大学大学院生）
白坂千里（大阪大学大学院生）
田中渉（関西大学大学院生）
利岡真帆（関西大学大学院生）
野間純平（大阪大学大学院生）
山本空（関西大学大学院生）

1. 3. データ収集

方言談話を分析する場合、自然談話を対象とするのが理想的ではあるが、自然談話は、話者の属性はある程度統一できても、場面や話題がさまざまであり、単純には比較することが難しい場合が多い。そのため、場面をそろえることが可能で、発話の意図や話の流れが比較しやすい、ロールプレイ会話を利用することにした。

ロールプレイ会話は、役割を演じるという仮想の会話ではあるが、使用する表現や話の展開を話者自身が考えるため、実際の言語運用に近い会話が得られると考えた。共同研究者の日高水穂氏が以前に実施した調査（「ロールプレイ会話データベース」<http://hougen.sakura.ne.jp/hidaka/kaiwa/>）を発展させるかたちで、「依頼」「勧誘」「申し出」などの場面を設定し、電話をかけるという方法で、その状況での会話を親しい同性の友人同士で実演してもらった。また、先輩にあたる同性の人にも参加してもらい、同輩同士の会話のほかに先輩と後輩の電話での会話も収録した。調査の概要は次のとおりである。

2. ロールプレイ会話調査

2. 1. 調査概要

- ・調査実施時期：2011 年 11 月～2013 年 10 月
- ・調査地域：首都圏、関西、秋田、名古屋、相生、広島、大分、熊本、人吉、沖縄
- ・話者：高年層（60～70 歳代）男性、高年層（60～70 歳代）女性、
若年層（大学生～20 歳代）男性、若年層（大学生～20 歳代）女性
- ・収録会話の種類：ペア入れ替え式ロールプレイ会話 4 場面、
リーグ戦式ロールプレイ会話 2 場面または 3 場面

2. 2. ペア入れ替え式ロールプレイ会話

2. 2. 1. 調査方法

- ・同性の親しい友人同士 2 名（話者 A、話者 B）がペアとなり、電話で会話を行う。
- ・話者 A、話者 B のそれぞれに、相手に伝える内容を指示する。
- ・話者 A が電話のかけ手、話者 B が受け手の会話を実施したのち、役割を入れ替えて、異なる場面設定の会話を実施する。

2. 2. 2. 場面設定＜高年層＞

場面 1 [A→B] 文句を言う

【Aへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を 30 分過ぎても B さんが来ません。B さんに電話をかけて文句を言ってください。B さんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

【Bへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったので

すが、集合時間を 30 分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいる A さんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。A さんに来るように促されたら了解してください。

場面 2 [A→B] 頼む

【Aへの指示内容】日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあるのですが、所用で出席できなくなりました。B さんに電話をかけ、代わりに出席してくれるよう頼んでください。断られても説得してください。

【Bへの指示内容】A さんから電話がかかってきます。A さんの持ちかける用件をいったんは断ってください。A さんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

場面 3 [B→A] なぐさめる

【Aへの指示内容】自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等＝D さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいるところに、B さんから電話がかかってきます。B さんと話をし、前向きな気持ちになったら了解してください。

【Bへの指示内容】A さんが自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等＝D さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいると聞きました。A さんに電話をかけ、A さんが前向きな気持ちになるよう話をしてください。

場面 4 [B→A] 誘う

【Aへの指示内容】B さんから電話がかかってきます。B さんの持ちかける用件をいったんは断ってください。B さんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

【Bへの指示内容】日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。A さんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

2. 2. 3. 場面設定＜若年層＞

場面 1 [A→B] 文句を言う

【Aへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を 30 分過ぎても B さんが来ません。B さんに電話をかけて文句を言ってください。B さんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

【Bへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったのですが、集合時間を 30 分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいる A さんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。A さんに来るように促されたら了解してください。

場面2 [A→B] 頼む

【Aへの指示内容】日曜日にゼミ（サークル・親睦グループ等）のボランティア活動があるのですが、所用で参加できなくなりました。Bさんに電話をかけ、代わりに参加してくれるよう頼んでください。断られても説得してください。

【Bへの指示内容】Aさんから電話がかかってきます。Aさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Aさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

場面3 [B→A] 慰める

【Aへの指示内容】ゼミ（サークル・親睦グループ等）の先輩（＝Dさん）を怒らせてしまい、落ち込んでいるところに、Bさんから電話がかかってきます。Bさんと話をし、前向きな気持ちになったら了解してください。

【Bへの指示内容】Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の先輩（＝Dさん）を怒らせてしまい、落ち込んでいると聞きました。Aさんに電話をかけ、Aさんが前向きな気持ちになるよう話をしてください。

場面4 [B→A] 誘う

【Aへの指示内容】Bさんから電話がかかってきます。Bさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Bさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

【Bへの指示内容】日曜日にゼミ（サークル・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。Aさんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

2. 3. リーグ戦式ロールプレイ会話

2. 3. 1. 調査方法

- ・同輩2名（話者A、話者B）＋先輩1名（話者C）を1グループとし、うち2名がペア（甲、乙）となり、電話で会話を行う。
- ・話者それぞれに、相手に伝える内容を指示する。
- ・話者のすべての組み合わせが得られるよう総当たりで会話を行う。
- ・さらに、電話のかけ手・受け手を入れ替えて会話を行う。
- ・場面1においては、話者の組み合わせが同輩同士の場合は場面1-1、先輩と後輩の場合は場面1-2の設定とする。

2. 3. 2. 場面設定＜高年層＞

場面1-1 出欠を確認する（同輩同士の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行く自治会（職場・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてくだ

さい。乙さんが旅行に（目上の）Cさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんが自治会（職場・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、（目上の）Cさんが来るかを尋ねたうえで行くと返事をしてください。

場面1-2 出欠を確認する（先輩・後輩の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行く自治会（職場・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行にEさん（両者にとっての目上の人物、会長等）が来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんが自治会（職場・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Eさん（両者にとっての目上の人物、会長等）が来るかを尋ねたうえで行くと返事をしてください。

場面2 手伝いを申し出る

【かけ手への指示内容】乙さんが自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

【受け手への指示内容】あなたは今自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

場面3 本を持っているか尋ねる

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんはある本を探していて、あなたがその本を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持っていくことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

2. 3. 3. 場面設定＜若年層＞

場面1-1 出欠を確認する（同輩同士の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行くゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅

行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行に（先輩の）Cさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、（先輩の）Cさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面1-2 出欠を確認する（先輩・後輩の会話）

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は来月行くゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打ち合わせ会を欠席していた乙さんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。乙さんが旅行にE先生（両者にとっての目上の人物、先生等）が来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。乙さんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、E先生（両者にとっての目上の人物、先生等）が来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

場面2 手伝いを申し出る

【かけ手への指示内容】乙さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

【受け手への指示内容】あなたは今ゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

場面3 本を持っているか尋ねる

【かけ手への指示内容】あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

【受け手への指示内容】甲さんから電話がかかってきます。甲さんはある本を探していて、あなたがその本を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持っていくことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

3. 方言ロールプレイ会話データベース

収集したロールプレイ会話は、録音・録画をもとに、方言音声の文字化、共通語訳をお

こなった。文字化・共通語訳はプロジェクトメンバー、対象方言を専門とする方言研究者、収録地のネイティブスピーカーなどが校閲し、できる限り正確な言語データとして、公開・共有できるように整備した。公開にあたっては、個人情報やプライバシーへの配慮も含め、下記のような処理をおこなっている。

文字化

- ・漢字かな交じり文によって表記する。
- ・ペア入れ替え式の話者はA・Bで示す。
- ・リーグ戦式の話者はA・B・Cで示す。
- ・発話中の個人名は、会話の当事者を指す場合はA・B・Cの記号に置き換える。
- ・ペア入れ替え式の場面3の先輩Dにあたる個人名はDの記号に置き換える。
- ・リーグ戦式の場面1-2の先生Eにあたる個人名はEの記号に置き換える。
- ・その他の第三者はZ・Y・X...等の記号に置き換える。
- ・／／：直後の発話が次の発話者の発話と同時に始まったことを示す。
- ・***：聞き取り不能の箇所。
- ・↑：上昇のイントネーションを表す。
- ・↓：下降のイントネーションを表す。
- ・{間}：発話がとぎれて不自然な沈黙が生じている箇所。
- ・{笑}：笑い声が生じた箇所。

音声

- ・音声については、個人名を伏せ音に加工している。
- ・個人名と重なっている発話の音声は、消去されている部分がある。
- ・原則として、電話のかけ手側の音声を使用。ただし、録音状態によっては、受け手側の音声を使用している場合がある。

公開用データとして、次の2種類を用意した。

「方言ロールプレイ会話データベース（ホームページ版）」

<http://www.ninjal.ac.jp/research/project/c/dialectconv/>

国立国語研究所ホームページ「トップ＞研究活動＞共同研究プロジェクト＞萌芽・発掘型＞方言談話の地域差と世代差に関する研究」の「プロジェクトの成果物：方言ロールプレイ会話データベース」

- ・ペア入れ替え式ロールプレイ会話とリーグ戦式ロールプレイ会話のそれぞれについて、文字化（漢字仮名交じり表記）、音声、凡例、話者情報、場面設定、調査概要を掲載している。なお、今後もデータを追加していく予定である。

「方言ロールプレイ会話データベース（Excel版）」

- ・ロールプレイ会話はホームページ版と同一であるが、検索が可能なデータとして、研究者に配布する予定である。Excelファイルは、「会話ID（地域_年層・性別・グ

ループ-場面)」「発話番号」「話者記号」「文字化」データで構成される。別途、音声ファイル、凡例、話者情報、場面設定、調査概要を付す。なお、今後もデータを追加し、すべてのロールプレイ会話について発話機能のラベリングを実施する計画である。

4. 分析・考察

本報告書では、収集したロールプレイ会話の中から、それぞれの場面設定について、首都圏と関西における典型例を選定し、共同研究者・研究協力者が分担して、分析・考察をおこなった。担当した場面と、対象としたロールプレイ会話は以下のとおりである。次章以降にそれぞれの談話の分析・考察を所収している。なお、いずれの談話でも場面設定には、たとえば、ペア入れ替え式ロールプレイ会話の場面2であれば、「依頼をする→断る→再度依頼をする→受諾する」のように、複数の行動を含んでいるが、談話の名称は便宜的に下記のようにした。

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：

場面1「文句談話」 三井はるみ

首都圏高年層男性 01 (sht_hm01-1)

首都圏若年層男性 02 (sht_lm02-1)

場面2「依頼談話」 松田美香

首都圏高年層女性 01 (sht_hf01-2)

首都圏若年層女性 01 (sht_lf01-2)

場面3「慰め談話」 日高水穂

首都圏高年層女性 01 (sht_hf01-3)

首都圏若年層女性 01 (sht_lf01-3)

場面4「勧誘談話」 小西いずみ

首都圏高年層男性 01 (sht_hm01-4)

首都圏若年層男性 02 (sht_lm02-4)

リーグ戦式ロールプレイ会話：

場面1「出欠確認談話」 酒井雅史

首都圏若年層女性 04 (sht_lf04ab-1～sht_lf04cb-1)

関西若年層男性 02 (kns_lm02ab-1～kns_lm02cb-1)

場面2・場面3「申し出談話」 森勇太

首都圏若年層女性 04 (sht_lf04ab-2～sht_lf04cb-2)

(sht_lf04ab-3～sht_lf04cb-3)

話者情報については、「方言ロールプレイ会話データベース（ホームページ版）」にも

掲載しているが、次のとおりである。

ペア入れ替え式ロールプレイ会話

ペア	話者記号	性別	出身地	生年	調査日時
首都圏高年層男性 01	A	男性	東京都文京区	1942 年生	2012.02.27.
	B	男性	東京都文京区	1939 年生	
首都圏高年層女性 01	A	女性	東京都千代田区	1944 年生	2012.02.06
	B	女性	東京都千代田区	1953 年生	
首都圏若年層男性 02	A	男性	東京都小金井市	1989 年生	2012.02.23.
	B	男性	埼玉県入間市	1989 年生	
首都圏若年層女性 01	A	女性	東京都台東区	1992 年生	2011.12.19.
	B	女性	東京都大田区	1991 年生	

リーグ戦式ロールプレイ会話

グループ	話者記号	性別	出身地	生年	調査日時
首都圏若年層女性 04	A	女性	埼玉県川口市	1991 年生	2013.08.08.
	B	女性	埼玉県比企郡鳩山町	1991 年生	
	C	女性	埼玉県秩父市	1991 年生	
関西若年層男性 02	A	男性	大阪府堺市	1991 年生	2012.08.02.
	B	男性	大阪府河内長野市	1990 年生	
	C	男性	大阪府八尾市	1987 年生	

発話機能をとらえるための指標に関しては、それぞれの論文において参考文献や先行研究として記載があるが、各場面の特徴を比較できるように、全体を通して共通の概念を用いて分析することにした。熊谷智子(1994、1997)の「行為的機能」、熊谷智子(2006)の「機能的要素」を活用している。また、ザトラウスキー(1991、1993、2011)の「話段」も参考になっている。

「行為的機能」

- ・熊谷智子（1997）「はたらきかけのやりとりとしての会話—特徴の束という形でみた「発話機能」—」茂呂雄二編『対話と知 —談話の認知科学入門—』新曜社，21-46.
- ・国立国語研究所編(1994)『伝えあうことば 日本語教育映像教材中級編関連教材 4 機能一覧表』大蔵省印刷局.
- ・「行為的機能」は、発話によって遂行される行為としての機能を考えるもの。
- ・「行為的機能」には、「情報要求」「行為要求」「注目要求」「陳述・表出」「注目表示」「関係づくり、儀礼」「宣言」がある。
- ・「行為的機能」は、「相手へのはたらきかけの姿勢」との組み合わせで発話機能を記述することを前提としている。
- ・理論的に作った分類枠を用いて会話の発話の特徴づけをしていくというもの。
- ・発話内容・発話姿勢についての分析項目のひとつ。

「機能的要素」

- ・熊谷智子、篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』（国立国語研究所報告 123）くろしお出版，19-54.
- ・「機能的要素」は、発話を、呼びかけ・説明など、相手に対する働きかけの機能を担う最小部分と考えられる単位に分割したもの。機能的要素の上位分類の「コミュニケーション機能」は、個々の機能的要素を、言語行動においてどのような役割を担っているかという観点からグループにまとめたもの。
- ・行為遂行のストラテジー的記述ができる。

ただし、「機能的要素」については、共同研究者の熊谷智子氏から、「機能的要素は、あくまで談話完成テスト式の回答の分析用であり、どのような要素がどのような割合で表われているかという集計や比較を目的としている。」「機能的要素は、すべての回答のバリエーションを見渡してからでないと、適切なカテゴリー設定や分類枠組みが決められないという性格のものである。」という、提唱者としての指摘もあった。

「機能的要素」については、今後、収録した談話すべての発話を分類した結果、あらためて機能的要素の枠組を検討する必要がある。その際、談話完成テストではないロールプレイ会話のようなデータでもすべての部分に「機能的要素」をつけるのか、また、どこまでをひとつの「機能的要素」を持った発話と考えるのか、など課題は残されている。現時点で機能的要素を付与することについては議論の残るところだが、分析例としてのひとつの試みとして、機能的要素を用いることにした。この点を含め、発話機能の付与に関しては、まだ試行錯誤的な部分があるが、方言談話における談話構造・談話展開を明らかにするためのケーススタディとして実施したものである。

付記

・各論文で分析の対象としたロールプレイ会話の文字化データ (Excel)、音声データ (mp3) は、付属 CD-ROM に所収している。

・本報告書『国立国語研究所共同研究報告 13-04 方言談話の地域差と世代差に関する研究成果報告書』の pdf 版は、プロジェクトのホームページで公開する。

<http://www.ninjal.ac.jp/research/project/c/dialectconv/>

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面1「文句談話」

三井 はるみ
(国立国語研究所)

1. 場面設定

ペア入れ替え式ロールプレイ会話調査の場面1「文句談話」の場面設定は以下のものである。

場面設定（場面1・高年層）

〔A（電話のかけ手）への指示〕自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあり、メンバーが集合場所に集まっています。ところが、集合時間を30分過ぎてもBさんが来ません。Bさんに電話をかけて文句を言ってください。Bさんの言い分を聞いた上で、来るように促してください。

〔B（電話のかけ手）への指示〕自治会（職場・親睦グループ等）の集まりに出席する予定だったのですが、集合時間を30分過ぎてしまいました。すでに集合場所にいるAさんから電話がかかってくるので、言い訳をしてください。Aさんに来るように促されたら了解してください。

若年層では、「自治会（職場・親睦グループ等）の集まり」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）の集まり」とした。

調査場面では、「A：文句を言う — B：言い分を述べる — A：来るように促す — B：了解する」という流れが設定されている。全体を「文句」の談話と位置づけているが、後段の「来るように促す — 了解する」は、内容的に「依頼」の性格を持っている。実際、今回対象とした首都圏男性高年層・若年層各1組の談話では、いずれも談話の後半に、「来てください」（sht_hm01-1 0070、sht_lm02-1 0024）、「来て」（sht_lm02-1 0022）という依頼形による直接的な行為の促し表現が現れている。

2. 首都圏男性ペアの文句談話の分析

2. 1. 談話構造

首都圏男性ペアの「文句」場面の談話構造を整理すると、次のようになる。

表1 文句談話（場面1）の構造

		高年層ペア	若年層ペア
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0002 相手確認
主要部	事態共有のための談話	0003 用件確認（B） 0004-0010 現状の提示と事情説明の要求（A） 0011-0013 細部の確認（B）と情報付加（A） 0013-0021 違約への気づきと困惑の表明（B） 0022-0052 補足情報（不都合）の提示（A） 0022-0039 補足情報（不都合）の提示（A） 0040 リカバー行動の要請（A） 0041-0051 細部の確認（B）と情報付加（A） 0052 補足情報（不都合）の提示（A） 0053 謝罪（B）	0002 現状の提示と事情説明の要求（A） 0003-0010 言い訳（B） 0003-0004 遅刻の理由 0005-0010 到着見込み 0010-0015 リカバー情報（到着見込み）の要求（A）と提示（B） 0016-0018 非難（A） 0018-0019 補足情報（不都合）の提示（A）
	事態修復のための談話	0054-0059 リカバー行動の要請（A）と了承（B） 0059-0067 状況修復のための調整（A・B） 0059-0062 リカバー情報（到着見込み）の提示（B） 0063-0064 フォローの要請（B）と了承（A） 0064-0067 念押しと了承（A・B） 0064-0073 念押し（A）と了承（B）の反復	0020-0021 フォローの請負（A） 0022-0023 リカバー行動の要請（A）と了承（B） 0023-0024 謝罪（B） 0024-0027 念押し（A）と了承（B）の反復
終了部		———	0028-0029 再会の予告

高年層ペアの「0022-0052 補足情報（不都合）の提示（A）」と「0059-0067 状況修復のための調整」には下位構造が見いだせる。後者は内容的には、「0059-0062 リカバー情報（到着見込み）の提示（B）」が、若年層ペアの「0010-0015 リカバー情報（到着見込み）の要求（A）と提示（B）」と、「0063-0064 フォローの要請（B）と了承（A）」が、若年層ペアの「0020-0021 フォローの請負（A）」と共通するものである。若年層ペアでは、「0003-0010 言い訳（B）」に下位構造が見いだせる。

文句談話の主要部は、「Bの遅刻」をめぐる、概ね、「Ⅰ 事態共有のための談話」から、「Ⅱ 非難・謝罪」という転換点を経て、「Ⅲ 事態修復のための談話」へという展開を見ている。ただし、高年層ペアではこの順序で談話が展開しているのに対し、若年層ペアでは入り組んでおり、一貫してこの順序で展開しているわけではない。表1では、若年層ペアについては、「Ⅰ 事態共有のための談話」が収束したと見た位置に、点線で区切りを表示した。

「Ⅰ 事態共有のための談話」は、Aによる「①現状の提示」と「②事情説明の要求」、それに対するBの「③言い分」（高年層では「違約への気づきと困惑の表明」、若年層では「言い訳」）、さらに、Aによる補足情報としての「④現在具体的に生じている不都合の提示」が、この順序で現れる。

「Ⅲ 事態修復のための談話」は、修復の手立てとして、AからBへの「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」、その補足情報としてのBによる「⑥到着見込みの提示」、そして

Aによって提示された「④現在具体的に生じている不都合」に対する当座の「⑦フォローの要請・請負」を含む。これらが、高年層ペアでは⑤⑥⑦の順で、若年層では⑥⑦⑤の順で現れる。若年層の⑥は、「事態共有のための談話」の一部として現れる。「⑥到着見込み」は「共有されるべき事態」とも「事態修復に関係する情報」とも位置付けられ得るということかもしれない。

「Ⅱ 非難・謝罪」の「⑧非難」「⑨謝罪」は、基本的には事態が共有された上で発動される行為であるため、「Ⅰ 事態共有のための談話」の後に現れ、また「⑧非難」「⑨謝罪」（特に謝罪）は事態が共有されたシグナルともなるため、続いて「Ⅲ 事態修復のための談話」に移行しうると考えられる。ただし若年層ペアでは、必ずしも「非難」「謝罪」が「Ⅰ 事態共有のための談話」と「Ⅱ 事態修復のための談話」のはっきりとした転換点となっているわけではない。また、「文句」行為の中核的表現は「⑧非難」であると考えられるが、高年層ペアでは、明らかな「⑧非難」の表現は取られていない。

上記①～⑨のうち、「③言い分」と「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」は調査シナリオに直接対応する要素である。一方他の要素、とりわけ、「④現在具体的に生じている不都合の提示」と、それに対する「⑦フォローの要請・請負」は、シナリオに直接対応していないが、高年層ペア、若年層ペアともに現れている。「文句」の談話を構成する要素として注目される。

2. 2. 「文句」の機能的要素

「文句」談話の主要部のAの発話に現れる、「文句」の機能を持つ要素を抽出した。

ただし、主に談話の後半に現れる〈行動の促し〉、《不都合への対処の請負》（リカバー）の中には、「文句」談話を構成する要素ではあっても、「文句」の機能を持つ発話と見るべ

表2 「文句」の機能的要素

	高年層ペア	若年層ペア
コミュニケーション機能	機能的要素	
状況説明	状況提示	状況提示
説明要求	事情説明の要求、リカバー情報の要求	事情説明の要求、リカバー情報の要求
補強	補足情報の提示、補足情報の確認、具体的な不都合の提示	具体的不都合の提示
非難		理由の繰り返し、理由の問い詰め、定型表現による非難
やわらげ		不都合への対処の請負
行動の促し	希望の表明、意向の確認、約束履行の念押し、依頼、丁寧な定型表現による念押し、期待表明	依頼、丁寧な依頼、丁寧な定型表現による念押し、期待表明（終了部）

きか判断に迷うものがあつた。(以下、機能的要素を《 》、コミュニケーション機能を〈 〉でくくって示す。)

〈状況説明〉〈説明要求〉〈補強〉〈行動の促し〉は、高年層、若年層ともに現れる。このうち〈行動の促し〉は、シナリオに沿うものであるが、そうでなくても、「違約の補償要求」といった「文句」行為の一面をなすものとして現れうるのかもしれない。また、特に高年層では、《依頼》《希望の表明》《意向の確認》《約束履行の念押し》《丁寧な定型表現による念押し》《期待表明》と、様々な機能を用いて繰り返し〈行動の促し〉を行っている。このこと自体が「文句」行為と関連する特徴かもしれない。一方、「文句」の中核的機能であると考えられる〈非難〉が現れるのは若年層のみである。なお、若年層に現れる《不都合への対処の請負》(表1では「フォローの請負」)は、「文句」の機能を持つ要素と見るべきか迷ったが、もし位置づけるのであれば、対人配慮的な機能を読み取ることができるかもしれないと考え、〈やわらげ〉とした。

表3・4に、談話展開に沿って、機能的要素の具体例を示す。

表3 高年層ペア話者Aにおける「文句」の機能的要素の出現例

事 態 共 有 の た め の 談 話	【現状の提示と事情説明の要求】 0004: 今日のさ、駒大一陸上の、0006: 会議が、もう始まっちゃってんだけど 《状況提示》。 0008: もう 30 分** 《状況提示》、0010: 今日なんかあつたの 《事情説明の要求》。
	【補足情報（不都合）の提示】 0022: 今日ね、0024: 隣にね、0026: Z さんって人 《具体的な不都合の提示（未完）》、0028: わかる↑ 《補足情報の確認》。 0036: そ、その人がね、0038: どうしても会いたってゆうんで 《具体的な不都合の提示》、0040: 早く来てくれると嬉しいんだけどね 〈行動の促し〉《希望の表明》。 0052: と、とにかく席が隣なの 《具体的な不都合の提示》。
事 態 修 復 の た め の 談 話	【リカバー行動の要請と了承】 0054: だから早く来てくれると、0056: 嬉しいんだけどねー 〈行動の促し〉《希望の表明》。こ、 0058: 大丈夫↑ 〈行動の促し〉《意向の確認》。
	【状況修復のための調整】 0060: あーそう。何分ぐらいかかりそう 《リカバー情報の要求》。 0064: はい、はい。じゃあ 7 時頃までには来られそうですね 〈行動の促し〉《約束履行の念押し》。
	【念押しと了承の反復】 0068: じゃ、待ってるので 〈行動の促し〉《期待表明》。 0070: はい、ぜひ。はい、はい。来てください 〈行動の促し〉《依頼》。 0072: お願いいたしまーす 〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による念押し》。

表4 若年層ペア話者Aにおける「文句」の機能的要素の出現例

事態共有のための談話	【現状の提示と事情説明の要求】 0002:もしもし。あの、今日のさ、ゼミ、あの、もう時間始まってんだけど《状況提示》、どうなってるの《事情説明の要求》。
	【言い訳】 (0003B:いや、ちょっと寝坊しちゃってさ。) 0004A:寝坊《非難》《理由の繰り返し》。
	【リカバー情報（到着見込み）の要求と提示】 0010:うん、今はさ、あの、もう支度できてんの《リカバー情報の要求》。こっち向かってる↑《リカバー情報の要求》。
	【非難】～【補足情報（不都合）の提示】 0016:なに、きゅー、寝坊↑《非難》《理由の問い詰め》。 0018: {笑} マジ、頼むよ《非難》《定型表現による非難》。結構先生も怒ってるからさ《具体的な不都合の提示》。
事態修復のための談話	【フォローの請負】 0020:あーん、じゃあ、こっちで、あの一、あの、先生には、あの、いろいろ、なんか体調悪いみたいなこと言っとくから《不都合への対処の提示》。
	【リカバー行動の要請と了承】 0022:あの一、急いで来て《行動の促し》《依頼》。あの一、できるだけ、ほんと急いで来て《行動の促し》《依頼》。
	【念押しと了承の反復】 0024:うん。じゃあ、こっちでなんとかやるから《不都合への対処の提示》。あの一、そうゆう、ま、急いで来てください《行動の促し》《丁寧な依頼》。よろしくお願いします《行動の促し》《丁寧な定型表現による念押し》。 0026:うん、じゃあ、こっちでやとくね《不都合への対処の提示》。

文句談話の主要部は、高年層、若年層とも、《状況提示》《事情説明の要求》から始まる。高年層では続いて「Bに会いたがっている人がいる」という《具体的な不都合の提示》が行われる。Aは話題の人物について「わかる↑」(0028)と《補足情報の確認》をはさみつつ説明し、0040で1回目の《希望の表明》による控えめな《行動の促し》を行う。しかしこれに対してBがさらなる細部の確認を行ったためAから付加情報が提供され、Aは0052で再度《具体的な不都合の提示》を行う。ここでBが「悪いね。」(0053)と謝罪を述べ、「事態修復のための談話」に移行する。0054であらためて《希望の表明》による《行動の促し》を行い、Bが了承したのを受けて、「大丈夫↑」(0058)と《意向の確認》をする。「何分ぐらいかかりそう」(0060)と《リカバー情報の要求》をし、回答を得た後は、《約束履行の念押し》《期待表明》《依頼》《丁寧な定型表現による念押し》と様々な機能を用い

て、最後までたたみかけるように〈行動の促し〉を行っている。

若年層では、高年層には現れない〈非難〉の機能が用いられている。Bの「言い訳」の間にも、それを捉えて《理由の繰り返し》による〈非難〉が現れる。Bが「言い訳」の中で「到着見込み」に触れたのを捉えて、いったん事態修復的な《リカバー情報の要求》を行うが、それが一段落すると再度、《理由の問い詰め》《定型表現による非難》による〈非難〉となる。そしてそれと連続して「先生が怒っている」という《具体的な不都合の提示》が行われる。以後の「事態修復のための談話」では、A自らによる《不都合への対処の提示》と、《依頼》による直接的な〈行動の促し〉が行われ、最後はこの二つの機能を交互に繰り返す念押しとなる。《不都合への対処の提示》の繰り返しは、前段の「事態共有のための談話」の中で繰り返された〈非難〉を中心とする「文句」行為に対する〈やわらげ〉の効果があると考えられるだろうか。

3. まとめ

以上、首都圏男性ペア高年層・若年層各1組の「文句」談話を分析した。現時点でうかがわれた2ペアの共通点と相違点は以下のとおりである。

談話構造に関しては、共通点が目立った。「Ⅰ 事態共有のための談話」から「Ⅱ 非難・謝罪」という転換点を経て、「Ⅲ 事態修復のための談話」へという展開を見せる。Ⅰには「①現状の提示」、「②事情説明の要求」、「③遅刻の言い分」、「④現在具体的に生じている不都合の提示」を含み、Ⅲには「⑤リカバー行動（＝来ること）の要請」、「⑥到着見込みの提示」、「⑦フォローの要請・請負」を含む。このうち、③、⑤は、調査シナリオに直接対応する要素であるが、それ以外はシナリオに明示されていない。特に④、⑦は、やや発展的な情報の付加であり、今後分析する他の談話にどのくらい現れるか注目される。

機能的要素（とコミュニケーション機能）に関しては、〈状況説明〉〈説明要求〉〈補強〉〈行動の促し〉が共通して見られた。一方、〈非難〉〈やわらげ〉は若年層ペアのみに見られた。〈非難〉は「文句」行為の中核的機能とみられるが、高年層には現れなかった。〈やわらげ〉が若年層のみに現れるのは、この直接的な〈非難〉に対応して、対人配慮上のバランスを取るものと見ることもできるかもしれない。また、高年層は〈行動の促し〉において、様々な機能を繰り返し用いている。「文句」行為における対人的配慮の方法に二つの異なるパターンがあるのかもしれない。

ここでの分析は試行的なものに過ぎない。今後、共同研究の中で分析の枠組みを検討しつつ、さらに他の談話の分析を進め、「文句」場面談話の共通点と相違点を見出していきたい。

参考文献

- 熊谷智子（1997）「はたらきかけのやりとりとしての会話 ―特徴の束という形でみた「発話機能」―」 茂呂雄二編『対話と知 ―談話の認知科学入門―』新曜社
- 熊谷智子・篠崎晃一（2006）「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『談話行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面1「文句談話」

(1) 首都圏高年層男性ペア

【開始部】

相手確認	0001	B	もしもーし。	注目要求
	0002-1	A	あ、	注目表示
	0002-2	A	A(名)でー／／す。	陳述・表出
	0003-1	B	おーおー、うん、	注目表示

【主要部】

確認用件	0003-2	B	どうした。	情報要求
現状の提示と事情説明の要求	0004	A	今日のさ、駒大一陸上の、	陳述・表出(1/2)
	0005	B	うん。	注目表示
	0006	A	会議が、もう始まっちゃってんだけど。	陳述・表出(2/2)
	0007	B	うん。	注目表示
	0008	A	もう30分**、	陳述・表出
	0009	B	／／え。	注目表示
	0010	A	今日なんかあったの。	情報要求
細部の確認と情報付加	0011-1	B	ん、今日何時からだったっけ。	情報要求
	0011-2	B	俺、	陳述・表出(未完)
	0012	A	6時。	陳述・表出
	0013-1	B	6時か。	注目表示
違約への気づきと困惑の表明	0013-2	B	もう／／6時過ぎてんな。	注目表示
	0014	A	うん。	注目表示
	0015-1	B	まいったなー。	陳述・表出
	0015-2	B	俺、ちょっとさ、	陳述・表出(未完)
	0016	A	もう、	陳述・表出(1/2)
	0017	B	今、ん、あ、もう始まってんのかよ。	情報要求
	0018-1	A	始まって、	陳述・表出(2/2)
	0018-2	A	／／はじま、もうねー、えー、	陳述・表出(未完)
	0019-1	B	あらららら。	注目表示
	0019-2	B	うん。	注目表示
	0020	A	開式の言葉が／／終わったし。	陳述・表出
	0021	B	うん、うん。	注目表示

補足情報（不都合）の提示	補足情報（不都合）の提示	0022	A	で、今日ね、	陳述・表出（1/3）
		0023	B	／／うん。	注目表示
		0024	A	隣にね、	陳述・表出（2/3）
		0025	B	うん。	注目表示
		0026	A	Zさんって／／人、	陳述・表出（3/3 未完） 《具体的な不都合の提示》、情報要求（1/2）
		0027	B	うん。	注目表示
		0028	A	わかる↑。	情報要求（2/2） 《補足情報の確認》
		0029-1	B	知らない。知らないな。	陳述・表出
		0029-2	B	誰、Zさんって。	情報要求
		0030	A	声かけられたんだ／／けど。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
		0031	B	うん。	注目表示
		0032	A	まちがえてね。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
		0033	B	うん。	注目表示
		0034	A	駒高の生徒さんだった／／人みたい。	陳述・表出
		0035-1	B	へー、	注目表示
		0035-2	B	知らないな。	陳述・表出
		0035-3	B	ん、えっ、	注目表示
		0035-4	B	それ、誰、／／何歳ぐらいの人。	情報要求
		0036	A	そ、その人がね、	陳述・表出（1/3）
		0037	B	うん。	注目表示
		0038	A	どうしても会いたってゆうんで、	陳述・表出（2/3）《具体的な不都合の提
		0039	B	うん。	注目表示
	リカバリー行動の要請	0040	A	早く来てくれると嬉しいんだ／／どね。	陳述・表出（3/3）《行動の促し》《希望の表明》
	細部の確認と情報付加	0041-1	B	あ、ほんと。	注目表示
		0041-2	B	おー、なに、駒大高の↑。	情報要求
		0041-3	B	なん、いくつぐらいの人だい。	情報要求
		0042	A	んーとね、年がね、	陳述・表出（未完）
		0043	B	うん。	注目表示
		0044	A	56歳って／／聞いた。	陳述・表出
		0045-1	B	56か。	注目表示

		0045-2	B	56／／ってゆうと、	情報要求 (1/2)
		0046	A	うん。	注目表示
		0047-1	B	56 ってゆうと、誰の年と同じ年くらいかな。	情報要求 (2/2)
		0047-2	B	僕が駒大高いた頃のあれだから、みると、だいたい第1期の連中がもう 60 過ぎてるからなー。	陳述・表出
		0047-3	B	へー、どんな人。	情報要求
		0047-4	B	なんか仕事やってた。	情報要求
		0048	A	えっとね、	注目表示
		0049	B	うん。	注目表示
		0050	A	うーんと、細面の人なんだ／／けどもね。	陳述・表出
		0051	B	うん、うん。	注目表示
	補足情報提示(不都合)	0052	A	と、とにかく席が隣なの。	陳述・表出《具体的な不都合の提示》
謝罪		0053-1	B	／／あ、ほんと。	注目表示
		0053-2	B	うわ、	注目表示
		0053-3	B	悪いね。	関係づくり、儀礼
リカバー行動の要請と了承		0054	A	だから早く来て／／くれると、	陳述・表出 (未完)
		0055	B	うん。	注目表示
		0056	A	嬉しいんだけど／／もねー。こ、	陳述・表出《行動の促し》《希望の表明》
		0057-1	B	あ、	注目表示
		0057-2	B	わかったわかったわかった。わかった。	陳述・表出
		0057-3	B	うん。	注目表示
		0058	A	大丈夫↑。	情報要求《行動の促し》《意向の確認》
		0059-1	B	うん、うん。	陳述・表出
状況修復のための調整	リカバー情報(到着見込み)の提示	0059-2	B	これからすぐ、さー、支度して行くけどさー。	陳述・表出
		0059-3	B	／／タクシー、うまく、ん、タクシ、	陳述・表出 (未完)
		0060-1	A	あーそう。	注目表示
		0060-2	A	何分ぐらいかかり／／そう。	情報要求《リカバー情報の要求》
		0061-1	B	うーん、タクシーうまく止めればいいんだけど、	陳述・表出
		0061-2	B	うーん、駅までやっぱ 10 分、20 分、まあ、25 分くらいかかるかもしれないなー。	陳述・表出
		0062	A	／／うん、うん、うん。	注目表示

	フ ォ ロ ー と 了 解 の 要 請	0063-1	B	ちょっと待た、待たせといてよ。	行為要求
		0063-2	B	うん。	注目表示
		0063-3	B	必ず行く／／から。	陳述・表出
		0064-1	A	はい、はい。	注目表示
	念 押 し と 了 承	0064-2	A	じゃあ7時頃までには／／来られそうですね。	情報要求〈行動の促し〉《約束履行の念押し》
		0065-1	B	うん、	注目表示
		0065-2	B	行く行く行く行く行く。	陳述・表出
		0065-3	B	うん、	注目表示
		0065-4	B	行く行く行く／／行く。	陳述・表出
		0066	A	はい、わかり／／ました。	注目表示
		0067-1	B	よろしく言っと／／いて一。	行為要求
		0067-2	B	はい。	注目表示
念 押 し と 了 承 の 反 復		0068	A	じゃ、待ってるので。	陳述・表出〈行動の促し〉《期待表明》
		0069-1	B	はいい。	注目表示
		0069-2	B	／／よろしく願いしまーす。	関係づくり、儀礼
		0070-1	A	はい、	注目表示
		0070-2	A	ぜひ、	行為要求 (1/2)
		0070-3	A	はい、はい。	注目表示
		0070-4	A	／／来てください。	行為要求 (2/2)〈行動の促し〉《依頼》
		0071	B	はいはい。	注目表示
		0072	A	お願いいたし／／まーす。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による念押し》
		0073	B	行きます、行きまーす。	陳述・表出

(2) 首都圏若年層男性ペア

【開始部】

確 認 相 手		0001	B	はい、もしもし。	注目表示
		0002-1	A	もしもし。	注目表示

【主要部】

現 状 の 提 示 と 事 情 説 明 の 要 求		0002-2	A	あの、今日のさ、ゼミ、あの、もう時間始まってんだけど、	陳述・表出 《状況提示》
		0002-3	A	どうなってんの。	情報要求 《事情説明の要求》
言 い 訳	遅 刻 の 理 由	0003-1	B	いや、	注目表示
		0003-2	B	ちょっと、寝坊しちゃってさ。	陳述・表出
		0004	A	寝坊。	注目表示〈非難〉《理由の繰り返し》
	到 着 見 込 み	0005	B	30分ぐらい、／／たぶん、ちょっと、	陳述・表出（1/3）
		0006	A	うん。	注目表示
		0007	B	いや、さんじ、い、んー、たぶん40分とか、	陳述・表出（2/3）
		0008	A	ん。	注目表示
		0009	B	ちょっと遅れちゃうかもしれない。	陳述・表出（3/3）
		0010-1	A	うん、	注目表示
リ カ パ ー 情 報 （ 到 着 見 込 み ） の 要 求 と 提 示		0010-2	A	今はさ、あの、もう支度できてんの。	情報要求《リカパー情報の要求》
		0010-3	A	こっち向かって／／る↑。	情報要求《リカパー情報の要求》
		0011-1	B	あー、	注目表示
		0011-2	B	もう向かってて、	陳述・表出（未完）
		0012	A	／／うん。	注目表示
		0013	B	今電車中なんだけど／／さ。	陳述・表出
		0014-1	A	うん。	注目表示
		0014-2	A	じゃあ、えー、30分、／／40分ぐらい。	情報要求
		0015-1	B	うん。	注目表示
		0015-2	B	そうそうそう。	陳述・表出
非 難		0016	A	なに、きゅー、寝坊↑。	情報要求〈非難〉《理由の問い詰め》
		0017	B	寝坊。	陳述・表出
		0018-1	A	{笑}マジ、頼むよ。	陳述・表出〈非難〉《定型表現による非難》
都 合 の 提 示	補 足 情 報 （ 不 都 合 ） の 提 示	0018-2	A	結構、先生も、結構怒ってるからさ。	陳述・表出《具体的不都合の提示》
		0019	B	うん。	注目表示
請 負	フ ォ ロ ー の	0020	A	あーん、じゃあ、こっちで、あの一、あの、先生には、あの、いろいろ、なんか体調悪いみたいなこと	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0021	B	うん。	注目表示

リカバ と了承 行動の要請		0022-1	A	あの一、急いで来て。	行為要求〈行動の促し〉《依頼》
		0022-2	A	あの一、できるだけ、ほんと急いで／／来て。	行為要求〈行動の促し〉《依頼》
		0023-1	B	あ一、	注目表示
謝罪		0023-2	B	悪い。	関係づくり、儀礼
		0023-3	B	／／あ一。	注目表示
		0024-1	A	うん。	注目表示
念押しと了承の反復		0024-2	A	じゃあ、こっちでなんとかやるから。	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0024-3	A	あの一、そうゆう、ま、急いで来てください。	行為要求〈行動の促し〉《丁寧な依頼》
		0024-4	A	よろしくお願いします。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《丁寧な定型表現による依頼》
		0025-1	B	はい、	注目表示
		0025-2	B	ありがとう。	関係づくり、儀礼
		0026-1	A	うん、	注目表示
		0026-2	A	じゃあ、こっちでやっつくね。	陳述・表出《不都合への対処の提示》
		0027	B	／／はい。	注目表示

【終了部】

再会の予告		0028	A	じゃあ、またあとで。	関係づくり、儀礼〈行動の促し〉《期待表明》
		0029	B	はい。	注目表示

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面2「依頼談話」

松田 美香

(別府大学)

1. 場面設定

ペア入れ替え式調査の場面2の分析を行う。場面設定を以下にあげる。話し手二人の関係は、高年層・若年層とも同年代の友人である。

場面設定（場面2・高年層）

〔A（電話のかけ手）への指示〕

日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の集まりがあるのですが、所用で出席できなくなりました。Bさんに電話をかけ、代わりに出席してくれるよう頼んでください。断られても説得してください。

〔B（電話の受け手）への指示〕 Aさんから電話がかかってきます。Aさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Aさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

若年層では、「自治会（職場・親睦グループ等）の集まり」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）のボランティア活動」とした。

蒲谷ほか(1993:52)では、「依頼行為」を「自分の利益になることを相手の好意による行動によって叶えられるよう働きかける表現行為」と定義している。本場面では、Aの代わりにBが集まり（若年層はボランティア）に出るよう、「A：依頼をする — B：断る — A：再度、依頼をする — B：依頼を受諾する」という流れが設定されている。

2. 先行研究

2. 1. 「コミュニケーション機能」による談話分析

熊谷・篠崎(2006：22-23)では、発話の機能を担う最小単位である機能的要素の上位概念として、「コミュニケーション機能」を示している。その結果、「依頼のコミュニケーション機能」を

＜きりだし＞

＜状況説明＞

＜効果的補強＞

＜行動の促し＞

＜対人配慮＞

＜その他＞

の6種にまとめた。以下は、その一部である。

表1 熊谷・篠崎(2006)表3-3より抜粋（一部改変）

コミュニケーション機能	機能的要素	
	荷物預け	往診
行動の促し	・ 預かりの依頼（アズカッテクダサイ） ・ 依頼の念押し（オネガイシマス） ・ 意向の確認（ドーデスカ）	・ 直接的依頼（キテ イタダケマスカ） ・ 伝言形の依頼（〜ト イッテマス） ・ 依頼の念押し（オネガイシマス） ・ 意向の確認（イカガデショー）
対人配慮	・ 恐縮の表明（スママセンガ／オジャマデシ ョーガ）	・ 恐縮の表明（スママセンガ／ヤブン オソ レイリマスガ）

たとえば、「荷物預け」の＜行動の促し＞には、《（預かりの）依頼》、《依頼の念押し》、《意向の確認》という3つの機能的要素が示されている。また、「対人配慮」においては、《恐縮の表明》が示されている。このように、「依頼」における談話の中で、機能を發揮して目的を達する言語要素を分析・抽出している。

2. 2. 「話段」をもちいる談話分析

ザトラウスキー(1993、2011)では、日本語による依頼談話の構造とストラテジーを、「話段」という単位で分析する。「話段」とは、「発話」それぞれを関連づけるために必要とされる「談話」の下位区分であり、依頼者と被依頼者が発話機能を使い分け、それぞれの目的による「依頼の話段（目的は「依頼」）」と「依頼応答の話段（目的は「承諾」や「断り」）」を一緒に作り上げるものである。ザトラウスキー(2011:133)の「依頼の話段」についての説明では、2人以上の参加者が雑談等で話す場合、

情報提供者：情報を提供することと関係する「発話機能」を用いる

協力者：協力して話段を作り上げる

の2つの役割があり、役割が交代するところで「話段」が変わると指摘している。ザトラウスキー(2011:129)では、日本語での親しい人同士の資料による「依頼」の談話について、

- ①依頼の前提条件が満たされているかどうかを確認する先行発話連鎖から始まる。
- ②依頼の話段はメタ言語的発話から始まり、その後依頼に関する情報が提供される。
- ③依頼を明示する前に「悪いけど」のように謝ったりする、依頼者の気配りが見られる。
- ④被依頼者が承諾した後大丈夫かどうかを再確認する。
- ⑤被依頼者が依頼者の情報提供や意思表示から依頼を察することもある。

とまとめている。①、②は、前述の熊谷・篠崎(2006:22-23)のコミュニケーション機能<きりだし>、③は同<対人配慮>、④は同<行動の促し>中の<依頼の念押し>とほぼ対応すると思われる。⑤については、明示的な依頼が不要な場合もあることを述べている。

本研究では、「依頼 → 断り → 再度の依頼 → 受諾」という流れがあらかじめ設定されている(1. 場面設定)。そのため、「話段」に相当する下位区分を設定し、高年層と若年層の構造を比較できるようにした。

3. 首都圏女性ペアの依頼談話の分析

(資料「ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面2「依頼談話」」参照)

3. 1. 談話構造と談話展開の主導権

依頼談話をザトラウスキー(1991, 1993, 2011)の枠組みをもとにとらえてみた。

まず、本談話は「開始部」「主要部」「終了部」で大きく三分割される。「開始部」と「終了部」では依頼の具体的な内容は言及されない。「主要部」の中では、設定した依頼から断り、再度の依頼から受諾への流れを縦軸とし、同時に「会話の主導権の移り変わり」を基準にして、横軸にはそれぞれの発話目的を発話番号とともに記した(表2)。

「会話の主導権」の決定については、話題の開始や転換となる隣接ペア¹において第一発話をしている話し手であり、その話題がある程度続く場合にはその会話の主導的な役割を果たしている側と判断した。

表2では、高年層と若年層を比較できるよう、事前に定められた流れにそって「主要部」内を区切ったものである。これらはおおむね「会話の主導権の移り変わり」に沿ったものになったが、高年層と若年層では、「依頼応答2(受諾)」と「終了部(別れの挨拶)」の構造に違いが出た。高年層ペアのほうが、より複雑な構造になっている。

高年層ペアと若年層ペアの構造を比較すると、

- ・高年層依頼者(B)の「断り」や「受諾」が明示的に示されないが、若年層では示された
- ・両年層の依頼者(A)の「依頼2」では直接的な依頼が行われず、「意向の確認」が行われるが、高年層の依頼者(A)のタイミングは、若年層のそれより遅れた
- ・高年層の依頼者(A)は「終了部(別れの挨拶)」でも「依頼の念押し」を行った
- ・高年層ペアのほうが「依頼応答2」や「終了部(別れの挨拶)」の構造が複雑であるという違いが見られる。

¹ 隣接ペアについては、林宅男(2008:111-112)『談話分析のアプローチ—理論と実践—』(研究社)を参照。

表 2 依頼談話（場面 2）の構造

		高年層ペア	若年層ペア
開始部		0001～0003 相手確認	0001～0003 相手確認
主 要 部	依頼 1	0004～0009 Aによる事情説明 00010 Aによる依頼	0004～0013 Aによる事情説明 0014～0015-1 Aによる依頼
	依頼 応答 1 （断り）	0011-1～0022 Bによる条件確認と感想	0015-2～0023 Bによる条件確認と断り
	依頼 2	0022-2～0028 Aによる同意と事情説明	0024 Aによる意向の確認（依頼）
	依頼 応答 2 （受諾）	0029～0043 Bによる非明示的な受諾 0029～0035 Bによる事情説明 0036 Aによる恐縮 0037～0038 Bによる報酬要求 0039～0043 Bによる事情説明 0044～0052 Aによる事情説明と報酬提案 0053～0059 Bによる非明示的な受諾 0060～0075-1 Aによる意向の確認（依頼）と 謝意	0025-2～0026-1 Bによる受諾 0026-2～0029-2 Aによる謝意と報酬提案 0029-3～0031 Bによる説明要求 0032～0033-1 Aによる依頼の念押しと謝意
終了部		0075-2～0082 別れの挨拶 0075 Bによる別れの挨拶 0076～0077 Aによる依頼の念押し（A・B 謝意） 0078～0082 Aによる別れの挨拶	0033-2～0034 別れの挨拶

3. 2. 依頼の要素の種類と現れ方

「依頼」談話の主要部の依頼者（A）の発話に現れる、「依頼」の機能を持つ要素を抽出した。

表3 「依頼」の機能的要素

	高年層ペア	若年層ペア
コミュニケーション機能	機能的要素	
きりだし	注目喚起、依頼条件の確認	注目喚起、依頼条件の確認、用件
状況説明	事情、依頼内容の詳細伝達	事情、依頼内容の詳細伝達
情報要求	理由説明の要求	理由説明の要求（中断）
効果的補強	感想への同意、相手事情の理解、事情の同意要求、依頼の理由、相手利益の補強、関係のやわらげ	事情の確認要求、相手利益の補強、事情詳細確認への同意、関係のやわらげ
行動の促し	交代の依頼、依頼の念押し	交代の依頼、依頼の念押し
対人配慮	恐縮の表明、謝意の表明	恐縮の表明、謝意の表明

高年層では、全体的に＜対人配慮＞が目立つ（表内の▼）。それも、0022-1A「悪い。」0022-3A「ごめん。」や、0068-1A「ありがとー、」0068-2A「感謝しま／／す。」のように、近似した意味の語を連続させる点が注目される。高年層の依頼者（A）は「依頼応答1」で明示的な返事が得られなかった。被依頼者（B）へ《依頼情報の詳細伝達》の後、0021B「結構長い／／ねー。」がある。そこから、0022-4A「忙しいのは十分わかんだけださー。」《相手事情の理解》、0034A「なんかあんの↑。」《理由説明の要求》などの＜効果的補強＞を続けるが、被依頼者（B）の答えは0035B「んー。」という、またもや明示的な受諾ではなかった。その後、0037-1B「ランチー。」0037-2B「{笑}」という被依頼者（B）の「受諾」の上での発話と推論できる発話にもかかわらず、引き続き依頼者（A）の＜事情＞と＜効果的補強＞が続けられる。0048A「それ断ると、あとあとがちょっと出てくるじゃない↑。」《事情の同意要求》、0050-4A「B（あだ名）ちゃんなら、なんとかしてくれっかなーと思っ／／て。」《依頼の理由》、0070A「そん、今度なんかで返すから／／ねー。」《相手利益の約束表明》など（表の■）。畳みかけるように《相手利益の補強》を操出した後、被依頼者（B）に改めて0062A「じゃ、そうしてもらえ↑。」《意向の確認》と＜行動の促し＞を行う。

表4 ペア話者Aにおける「依頼」の機能的要素の出現例（高年層）

	高年層ペア
依頼 1	0004A : B (あだ名) ちゃん↑、あのさー、{笑} 《注目喚起》 ▼0006-1A : 悪いんだけど、《恐縮の表明》 0006-2A : 日曜日に会があるじゃない。《依頼条件の確認》 0008A : で、そん、それ、ちょっとわたしさー、あの一、都合悪くなっちゃったのよねー。《事情》 ▼0010-2A : 悪いんだけど、《恐縮の表明》 <u>0010-3A : B (あだ名) ちゃん、出てくれる↑《交代の依頼》</u>
依頼 応答 1 (断り)	0012-2A : 立川なんだってー。《依頼内容の詳細伝達》 0014A : 立川の国立ー《依頼内容の詳細伝達》(1/2) 0016A : 研究所ってーゆってたねー。《依頼内容の詳細伝達》(1/2) 0018-1A : 確か1時間か2時間だと思／／うんだー。《依頼内容の詳細伝達》 ■0022-1A : 長いね、《感想への同意》
依頼 2	▼0022-2A : 悪い。《恐縮の表明》 ▼0022-3A : ごめん。《恐縮の表明》 ■0022-4A : 忙しいのは十分わかんだけさー。《相手事情の理解》 0024A : ちょっと、あったしねー、そのときほら、お店があるじゃない。《事情》 0026A : 予約が入っちゃったのよー。《事情》
依頼 応答 2 (受諾)	■0034A : なんかあんの↑。《理由説明の要求》 ▼0036A : 悪い。《恐縮の表明》 ▼0042A : ごめん／／ねー。《恐縮の表明》 0044A : こっちもさ、もうほーんとに困っちゃっててねー。《事情》 0046-2A : 予約のお客様でもあるしー、《事情》 ■0048A : それ断ると、あとあとがちょっと出てくるじゃない↑。《事情の同意要求》 0050-1A : だからどうしよかなーと思って、《事情》 ▼0050-3A : 申し訳ない、《恐縮の表明》 ■0050-4A : B (あだ名) ちゃんなら、なんとかしてくれっかなーと思／／て。《依頼の理由》 ■0052A : かわりに今度さ、ランチごちそうするから。《相手利益の補強》 0054-2A : { 笑 } 《関係のやわらげ》 0056A : { 笑 } 《関係のやわらげ》 ■0070A : そん、今度なんかで返すから／／ねー。《相手利益の補強》 ▼0060-2A : 悪い。《恐縮の表明》 <u>0062A : じゃ、そうしてもらえる↑。《意向の確認》</u>

依頼応答2 (受諾)	▼0068-1A：ありがとー、《謝意の表明》 ▼0068-2A：感謝しま／／す。《謝意の表明》 ■0070A：そん、今度なんかで返すから／／ねー。《相手利益の補強》
別れの挨拶	0076A：よろしくねー。《依頼の念押し》 ▼0078-2A：どうもー。《謝意の表明》

※ ▼：＜対人配慮＞、■：＜効果的補強＞

若年層では、《用件》が先行する点が老年層と大きく異なった。また、0008-2A「あるじゃん、」《事情の説明要求》が2度繰り返される点も、強い働きかけとして特徴的である。老年層と同様に、若年層の被依頼者（B）も依頼後にすぐ明示的な返事が得られず、しばらくBの情報要求に答える《依頼内容の詳細伝達》が続く。そして情報を得た挙句、0019-3B「一応、でも、ちょっと、やりたいことあるんだよねー。」を聞き、0020-2A「でもさー、／／それ、」《理由説明の要求》（中断）を行うも、未完に終わった。すぐに被依頼者（B）の0021B「代わりにいないと困る感じな／／の↑」に0022A「うんうん、そうなの。」《事情詳細確認への同意》で＜効果的補強＞をし、0024-1A「ごめん。」《恐縮の表明》、0024-2A「お願いー、でき／／るー↑。」《交代の依頼》と話を進めた。被依頼者の受諾後、0028-1A「じゃあ今度ランチでもおごるんで。」《相手利益の補強》を試みたが、0029-2B「あー、いいよ、別に。」という返事だったので深追いせず、被依頼者の確認要求に0030-2A「そう／／そうそう。」《事情詳細確認への同意》で、依頼したい気持ちを強くアピールした。

最後に、発話の後の{笑}（笑い）《関係のやわらげ》の出現タイミングは両年層ともほぼ同じで、どちらも《相手利益の補強》の直後であった。

表5 ペア話者Aにおける「依頼」の機能的要素の出現例（若年層）

	若年層ペア
依頼1	0004-1A：えっとさー、《注目喚起》 0004-2A：ちょっと一つお願いがあって電話したんだけどさー。《用件》 0006A：あの、あさってー、今週の日曜日なんだけどー。《依頼条件の確認》 0008-1A：ボランティアがあってー、／／《事情》 0008-2A：あるじゃん、《事情の説明要求》 0010A：あるじゃん。《事情の説明要求》 0012-1A：それ、法事で行けなくなっちゃったんだよね。／／《事情》 0012-2A：あたしが行くことになってたんだけどー。《事情》 0014-1A：でさー、お願い。《用件》 0014-2A：それ、代わりに参加してくれないかなー。《交代の依頼》

依頼応答1 (断り)	0016-2A：あの、ごみ拾い、なんだけど。《依頼内容の詳細伝達》 0018-2A：朝の10時に恵比寿駅西口に集合。《依頼内容の詳細伝達》 ■0020-2A：でもさー、／／それ、《理由説明の要求》（中断） ■0022A：うんうん、そうなの。《事情詳細確認への同意》
依頼2	▼0024-1A：ごめん。《恐縮の表明》 0024-2A：お願いー、でき／／るー↑。《意向の確認》
依頼応答2 (受諾)	▼0026-2A：ありがと。《謝意の表明》 ■0028-1A：じゃあ今度ランチでもおごるんで。《相手利益の補強》 0028-2A：{笑} 《関係のやわらげ》 ■0030-2A：そう／／そうそう。《事情詳細確認への同意》 0032-1A：じゃあ、お願いーい／／しまーす。《依頼の念押し》 ▼0032-2A：ありがとねー。《謝意の表明》

※ ▼：＜対人配慮＞、■：＜効果的補強＞

以上、高年層ペアと若年層ペアを比較した結果、

- ・若年層依頼者（A）が使用した＜きりだし＞の《用件》を、高年層依頼者（A）は使用しなかった。
- ・高年層のほうが、＜効果的補強＞と＜対人配慮＞の回数が多い（《恐縮の表明》と《謝意の表明》）
- ・＜効果的補強＞の中を見ると、《（断りの）理由説明要求》と《相手利益の補強》は共通するが、それ以外は同じ機能的要素ではない
- ・＜効果的補強＞の機能的要素のヴァリエーションは高年層が多い（高年層6種類、若年層4種類）
- ・どちらも《相手利益の補強》としての「ランチをおごる」の直後に、《関係のやわらげ》（{笑}）を行った

ということがわかった。

3. 3. 明示的な「依頼」を避ける理由について（高年層）

これまで見てきたように、高年層では最初の「依頼」の後、次の「依頼」が明示的には行われなかった。構造上、高年層のほうが「依頼応答2」と「終了部（別れの挨拶）」の部分が長く複雑になったのも、このことと関係が深いと思われる。2度目の「依頼」あるいは「意向の確認」がすぐには行われなかった原因は、被依頼者（B）の明示的な「断り」がなかったからとも思える。

しかし、交代する用件の所要時間についての反応が 0021B「結構長い／／ねー。」だったことから、依頼者（A）は非明示的な「断り」を察知したはずである。そのことは、この後、依頼者（A）が《感想への同意》、《恐縮の表明》、《相手事情の理解》と＜効果的補強＞を次々に行ったことからわかる。しばらくの間、依頼者（A）は明示的な「依頼」を避け、《事情》を続けた。その後も＜対人配慮＞や＜効果的補強＞を続けた。このようにして、終了部の直前で《意向の確認》、終了部に入ってから《依頼の念押し》を行っている。結局、＜行動の促し＞は若年層と同じだけしているのである。

今回の結果を見る限り、高年層ペアの＜行動の促し＞は若年層と同程度であり、一方、＜対人配慮＞や＜効果的補強＞は明らかに若年層より多くなっている。

先に蒲谷ほか(1993:52)による「依頼行為」の定義を行ったが、互いの利益を強調できる「勧誘」に比べ、「依頼」はそれができない。したがって、依頼者（A）は被依頼者（B）に対して、明示的に「依頼」を繰り返して負担を強調するよりも、被依頼者（B）が納得し好意的な気持ちになるまで、＜対人配慮＞や＜効果的補強＞を重ねていく戦略を選んだと見るのが妥当ではないだろうか。若年層ペアとの違いは、年代による多忙さの違い、被依頼者（B）の負担への見積りの違いから生じたものであろう。

4. まとめ

首都圏女性ペアの高年層・若年層各1組の「依頼」談話を分析した。その結果、2つのペアの共通点と相違点は以下のとおりである。

談話構造に関しては、高年層には明示的な「断り」「受諾」がなく、「依頼2」も明示的でないまま進み、やや複雑な構造になった。若年層は比較的単純な構造だった。

機能的要素（とコミュニケーション機能）に関しては、＜きりだし＞＜状況説明＞＜情報要求＞＜効果的補強＞＜行動の促し＞＜対人配慮＞が共通して見られた。＜行動の促し＞の《交代の依頼》は「依頼」行為の中核的機能とみられるが、2度予定されていたものの両年層ともに最初の1度だけで、あとは《意向の確認》になっている。違いとしては、高年層のほうが＜効果的補強＞と＜対人配慮＞の回数が多く、機能的要素のヴァリエーションも多い。このことと「依頼2」が明示的に現れなかったことは無関係ではなく、「依頼」行為自体を目立たせず、＜効果的補強＞と＜対人配慮＞を繰り返すことで、被依頼者を納得させ、好意的な気持ちを抱かせる戦略を用いているのではないかという指摘を行った。

参考文献

- ザトラウスキー、ポリー（1993）『日本語の談話の構造分析—勧誘の戦略の考察—』くろしお出版 日本語研究叢書 5
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵（1993）「依頼表現方略の分析と記述—待遇表現教育への応用に向けて—」『早稲田大学日本語研究教育センター』5 p.52

- 熊谷智子(1994) 国立国語研究所編『伝えあうことば 日本語教育映像教材中級編関連教材
4 機能一覧表』大蔵省印刷局 pp.5-167
- 熊谷智子・篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語
研究所『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版 pp.19-54
- ザトラウスキー, ポリー(2011)「第7章 談話」益岡隆志編『はじめて学ぶ日本語学—こ
とばの奥深さを知る 15 章—』ミネルヴァ書房 pp.129-133
- 杉村孝夫(2013)「依頼の場面の談話分析—大分県方言談話資料による—」福岡教育大学『福
岡教育大学紀要』第 62 号 第 1 分冊 pp.33-54

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面2「依頼談話」

(1) 首都圏高年層女性ペア

【開始部】

	主導権	発話番号＋発話者：発話	<行為的機能> 《機能的要素》
相手確認	(A)	0001-1B：あ、	B:注目表示
		0001-2B：もしもしー。	B:注目要求
		0002-1A：あ、	A:注目表示
		0002-2A：もしもし。	A:注目要求
		0003B：うん。	B:注目表示

【主要部】

依頼1	A	0004A：B（あだ名）ちゃん↑、あのさー。{笑}	B:注目要求
		0005B：うん。	B:注目表示
		0006-1A：悪いんだけど、	A:関係づくり，儀礼 《恐縮の表明》
		0006-2A：日曜日に会があるじゃない。	A:陳述・表出
		0007B：うん。	B:注目表示
		0008A：で、そん、それ、ちょっとわたしさー、あの一、都合悪くな っちゃったのよねー。	A:陳述・表出 《事情》
		0009B：あーそう。	B:注目表示
		0010-1A：うーん。そいでー、	A:注目表示
		0010-2A：悪いんだけど、	A:関係づくり，儀礼 《恐縮の表明》
		0010-3A：B（あだ名）ちゃん、出してくれる↑。	A:行為要求《交代の依頼》
依頼応答1	B	0011-1B：んー、そうだねー	B:注目表示
		0011-2B：どこー↑、場所。	B:情報要求
		0012-1A：あのねー、	A:注目表示
		0012-2A：立川なんだってー。	A:陳述・表出 《依頼内容の詳細伝達》
		0013-1B：あ、	B:注目表示
		0013-2B：立／／川。	B:陳述・表出
		0014A：立川の国立ー	A:陳述・表出(1/2) 《依頼内容の詳細伝達》

		0015 B : うん。	B:注目表示
		0016 A : 研究所って一ゆってたねー。	A:陳述・表出(2/2) 《依頼内容の詳細伝達》
		0017-1 B : んー、あ、ほんと。	B:注目表示
		0017-2 B : 何時間ぐらーい↑。	B:情報要求
		0018-1 A : んー、	A:注目表示
		0018-2 A : 確か1時間か2時間だと思／うんだー。	A:陳述・表出 《依頼内容の詳細伝達》
		0019-1 B : あ、	B:注目表示
		0019-2 B : そのぐらゐ。／／1時間、2時間、	B:注目表示
		0020 A : うん。	A:注目表示
		0021 B : 結構長い／／ねー。	B:陳述・表出
		0022-1 A : 長いね、	A:陳述・表出 《感想への同意》
依頼 2	A	0022-2 A : 悪い。	A:関係作り・儀礼《 恐縮の表明》
		0022-3 A : ごめん、	A:関係作り・儀礼《 恐縮の表明》
		0022-4 A : 忙しいのは十分わかんだけどさー。	A:陳述・表出 《相手事情の理解》
		0023 B : うーん。	B:注目表示
		0024 A : ちょっと、あったしねー、そのときほら、お店があるじゃない。	A:陳述・表出 《事情》
		0025 B : うん。	B:注目表示
		0026 A : 予約が入っちゃったのよー。	A:陳述・表出 《事情》
		0027 B : あー、そうなんだー。	B:注目表示
		0028 A : うん。	A:注目表示
依頼 応 答 2	B	0029-1 B : んー、まあさー、	B:注目表示
		0029-2 B : A (名) ちゃんの、こ、頼みだからねー、	B:陳述・表出
		0030 A : んー。	A:注目表示
		0031 B : まあ、んー、どうしてもってゆうんだったらさー、ほかの約束があるんだけどね、	B:陳述・表出
		0032 A : あ、	A:注目表示
		0033 B : ちょっと聞いてみたりしてー、あの一、なるべく行かれるようにするわー。	B:陳述・表出

		0034 A : なんかあんの↑。	A:情報要求
		0035 B : んー。	B:注目表示
		0036 A : 悪い。	A:関係づくり, 儀礼 《恐縮の表明》
		0037-1 B : ランチー。	B:陳述・表出
		0037-2 B : {笑}	B:注目表示
		0038 A : あ、ラン／／チ。	A:注目表示
		0039-1 B : んー、だけど、まあ、それはさー、	B:注目表示
		0039-2 B : 頼もうと思えば、あの一、変えられる人だからー。	B:陳述・表出
		0040 A : うん。	A:注目表示
		0041 B : まあ、頼み込むわー、そしたら。	B:陳述・表出
		0042 A : ごめん／／ねー。	A:関係づくり, 儀礼 《恐縮の表明》
		0043 B : うん、んー。	B:注目表示
	A	0044 A : こっちもさ、もうほーんとに困っちゃっててねー。	A:陳述・表出 《事情》
		0045 B : うん。	B:注目表示
		0046-1 A : あの一、	A:注目表示
		0046-2 A : 予約のお客様でもあるしー、	A:陳述・表出 《事情》
		0047 B : うん。	B:注目表示
		0048 A : それ断ると、あとあとがちよっと出てくるじゃない↑。	A : 情報要求 《事情の同意要求》
		0049 B : そうだよ／／ねー。	B:陳述・表出
		0050-1 A : だからどうしよかなーと思って、	A:陳述・表出 《事情》
		0050-2 A : あー、	A:注目表示
		0050-3 A : 申し訳ない、	A:関係づくり, 儀礼 《恐縮の表明》
		0050-4 A : B (あだ名) ちゃんなら、なんとかしてくれっかなーと思 っ／／て。	B:陳述・表出 《依頼の理由》
		0051 B : うん、／／そうね。	B:注目表示
		0052 A : かわりに今度さ、ランチごちそうするから。	A:陳述・表出 《相手利益の補強》
	B	0053-1 B : そうだねー、／／	B:注目表示
		0053-2 B : じゃあデラックスな	B:陳述・表出 (1/2)
		0054-1 A : うん。	A:注目表示

		0054-2 A : {笑}	A:注目表示 《関係のやわらげ》
		0055-1 B : フルコースを頼むわー。	B:陳述・表出 (2/2)
		0055-2 B : {笑}	B:注目表示
		0056 A : {笑}	A:注目表示 《関係のやわらげ》
		0057 B : そんなら、んー、な、友達のほうのは、ちょっと、来週に変更してもらうわー。	B:陳述・表出
		0058 A : そーお。	A:注目表示
		0059 B : うん。	B:注目表示
	A	0060-1 A : んー、	A:注目表示
		0060-2 A : 悪い。	A:関係づくり, 儀礼 《恐縮の表明》
		0061 B : //そんなふに、	B:陳述・表出 (1/2)
		0062 A : じゃ、そうしてもらえる↑。	A:行為要求 《意向の確認》
		0063 B : 電話しとくから。	B:陳述・表出(2/2)
		0064 A : うーん。	A:注目表示
		0065-1 B : じゃあ、まあ、いいや、い、	B:陳述・表出
		0065-2 B : 了解しとく。	B:陳述・表出
		0066 A : そーお。	A:注目表示
		0067 B : うん。	B:注目表示
		0068-1 A : ありがとー、	A:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0068-2 A : 感謝しま//す。	A:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0069 B : はーい。	B:注目表示
		0070 A : そんな、今度なんかで返すから//ねー。	A:陳述・表出 《相手利益の補強》
		0071 B : そうだねー。	B:注目表示
		0072 A : うん。	A:注目表示
		0073 B : 期待してるわー。	B:陳述・表出
		0074 A : はい。	A:注目表示
		0075-1 B : はい、	B:注目表示

【終了部】

別 れ の 挨 拶	(B)	0075-2 B : じゃあねー、またねー。	B:関係づくり, 儀礼
		0076 A : よろしくねー。	A:関係作り, 儀礼《 依頼の念押し》
		0077-1 B : はい、	B:注目表示
		0077-2 B : どうもねー。	B:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0078-1 A : それじゃあ、	A:注目要求
		0078-2 A : どうもー。	A:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0079 B : はい。	B:注目表示
		0080 A : ごめんくだ／／さーい。	A:関係づくり, 儀礼
		0081-1 B : はい、ごめんくだ／／さーい。	B:注目表示
		0081-2 B : はい、ごめんくだ／／さーい。	B:関係づくり, 儀礼
		0082 A : はい。	A:注目表示

(2) 首都圏若年層女性ペア

【開始部】

	主 導 権	発話番号、発話者：発話	<行為的機能> 《機能的要素》
相 手 確 認	(A)	0001 B : もしもし。	B:注目要求
		0002-1 A : あ、	A:注目表示
		0002-2 A : もしもし、	A:注目要求
		0002-3 A : B (あだ名)。	B:情報要求
		0003 B : うーん。	B:注目表示

【主要部】

依 頼 1	A	0004-1 A : えっとさー、	A:注目表示《注目喚 起》
		0004-2 A : ちょっと一つお願いがあって電話したんだけどさー。	A:陳述・表出《用件
		0005 B : うんうん。	B:注目表示
		0006 A : あの、あさってー、今週の日曜日なんだけどー。	A:陳述・表出《依頼 条件の確認》
		0007 B : うん。	B:注目表示
		0008-1 A : ボランティアがあってー、／／	A:陳述・表出《事情

		0008-2A : あるじゃん、	A:情報要求《事情の 確認要求》
		0009B : うん。	B:注目表示
		0010A : あるじゃん。	A:情報要求《事情の 確認要求》
		0011B : うんうん。	B:陳述・表出
		0012-1A : それ、法事で行けなくなっちゃったんだよね。／／	A:陳述・表出《事情
		0012-2A : あたしが行くことになってただけどー。	A:陳述・表出《事情
		0013B : あー、そうなんだ、うん。	B:注目表示
		0014-1A : でさー、お願い。	A:行為要求《用件》
		0014-2A : それ、代わりに参加してくれないかなー。	A:行為要求《交代の 依頼》
		0015-1B : あー、	B:注目表示
依 頼 応 答 1 断 り	B	0015-2B : ボランティア、そのー↑。	B:情報要求
		0016-1A : そうそう。／／	A:陳述・表出
		0016-2A : あの、ごみ拾い、なんだけど。	A:陳述・表出《依頼 内容の詳細伝達》
		0017-1B : え、	B:注目表示
		0017-2B : 時間、時間とかって。	B:情報要求
		0018-1A : んとねー、	A:注目表示
		0018-2A : 朝の 10 時に恵比寿駅西口に集合。	A:陳述・表出《依頼 内容の詳細伝達》
		0019-1B : あー、そっかー。	B:注目表示
		0019-2B : うーん、	B:注目表示
		0019-3B : 一応、でも、ちょっと、やりたいことあるんだよねー。	B:陳述・表出
		0020-1A : あー、あー、そうなの。	A:注目表示
		0020-2A : でもさー、／／それ、	A:情報要求(中断)《 理由説明の要求》
		0021B : 代わりにいないと困る感じな／／の↑。	B:情報要求
		0022-1A : ほんと、	A:注目表示
		0022A : うんうん、そうなの。	A:陳述・表出《事情
		0023B : あー、そっかそっかー。	B:注目表示
依 頼 2	A	0024-1A : ごめん。	A:関係づくり、儀礼 《恐縮の表明》
		0024-2A : お願いー、でき／／るー↑。	A:行為要求《意向の 確認》
		0025-1B : {笑}	B:注目表示

依頼 応答 2 受諾	B	0025-2 B : うーん。	B:注目表示
		0025-3 B : じゃあ、わかった。	B:陳述・表出
		0025-4 B : いいよー。	B:陳述・表出
		0026-1 A : あ、ほんと↑。／／	A:注目表示
	A	0026-2 A : ありがと。	A:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0027 B : うん。	B:注目表示
		0028-1 A : じゃあ今度ランチでもおごるんで。	A:陳述・表出《相手 利益の補強》
		0028-2 A : {笑}	A:注目表示《関係の やわらげ》
		0029-1 B : あー、	B:注目要求
		0029-2 B : いいよ、別に。	B:陳述・表出
	B	0029-3 B : 10 時に恵比寿の西口ねー↑。	B:情報要求
		0030-1 A : はいはい。	A:注目表示
		0030-2 A : そう／／そうそう。	B:陳述・表出《事情 詳細確認への同意》
		0031-1 B : うーん	B:注目表示
		0031-2 B : わかった。	B:陳述・表出
		0031-3 B : じゃあ。	B:関係づくり, 儀礼
		0032-1 A : じゃあ、お願いーい／／しまーす。	A:関係づくり, 儀礼 《依頼の念押し》
	A	0032-2 A : ありがとねー。	A:関係づくり, 儀礼 《謝意の表明》
		0033-1 B : はいー、	B:注目表示

【終了部】

終 了 部	(B)	0033-2 B : バイバーイ。	B:関係づくり, 儀礼
		0034-1 A : うん、	A:注目表示
		0034-2 A : じゃあねー。	A:関係づくり, 儀礼

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面3「慰め談話」

日高 水穂

(関西大学)

1. 場面設定

ペア入れ替え式ロールプレイ会話調査の場面3「慰め談話」の場面設定は以下のものである（若年層では「自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等）」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）の先輩」とした）。

(1) 場面設定（場面3・高年層）

[A（電話の受け手）への指示] 自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等）（仮名：佐藤さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいるところに、Bさんから電話がかかってきます。Bさんと話をし、前向きな気持ちになったら了解してください。

[B（電話のかけ手）への指示] Aさんが自治会（職場・親睦グループ等）の会長（上司・先輩等）（仮名：佐藤さん）を怒らせてしまい、落ち込んでいると聞きました。Aさんに電話をかけ、Aさんが前向きな気持ちになるよう話をしてください。

2. 先行研究

日高（2012）では、「試験に落ちた友人を慰める」という場面設定のロールプレイ会話に現れた「慰め」の機能的要素として、次のものをあげている。

(2) 「慰め」の機能的要素

(a) 心配：相手の状況を察して心配する。

例) 「大丈夫？」

(b) 共感：相手の状況を察して共感を示す。

例) 「それはへこむよねー」

(c) 助言：相手の状況がよくなるように助言する。

例) 「あんまり考え込みすぎないほうがいいよ」

(d) 前向きな予測：前向きな予測をして、相手を積極的な気持ちにさせる。

例) 「大丈夫、○○ちゃんなら次は受かるよ」

(e) 励まし：励ましの言葉をかける。

例) 「元気出して」「頑張ってね試験」

これらの「慰め」の機能的要素は、落ち込む相手が「慰め」が受け入れるまでまんべん

なく現れ、受け入れたあとでは《前向きな予測》《励まし》が繰り返される。こうした「慰め」の機能的要素の出現パターンを図示すると、次のようになる。

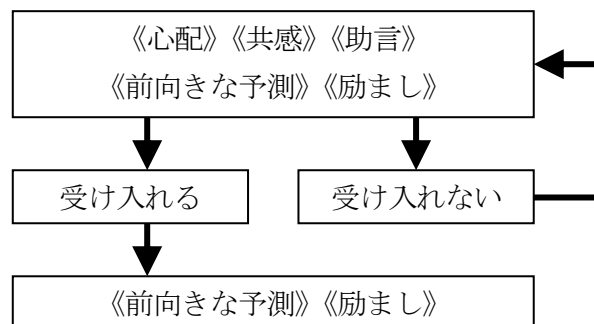


図1 「慰め」の機能的要素の出現パターン

菅野（2011）では、「友人に紹介してもらったバイトの面接に落ちたことを報告する」という電話会話を収録し、「慰め」の機能を持つ発話を以下のように分類している。

（3）「慰め」の機能を持つ発話

I 共感的発話：落ち込む人の気持ちに共感した発話。相手をフォローしたり、親身な対応をとった発話などがこれに属する。

例）「なんで」「どうして」などの理由を追究する発話

「まじで？」「ええー」などの驚きを表す発話

「がんばれ」「落ち込むな」などの直接的な表現で相手を励ます発話

「大丈夫？」など相手の心情を直接的に聞く発話

II 対立的発話：落ち込む人を非難したり冗談を言うなど、状況的に対立を生み出すような発話。これらは、わざと厳しいことを言ったり楽観的な態度を取ることで、落ち込む人を鼓舞し、事態の深刻さを軽減化しようという意図をもつ場合、慰めとして機能する。対立的発話の具体例は以下のようなものである。

例）面接に落ちた原因・事実に言及する発話

「落ちる」「ダメ」などのマイナス表現を含む発話

この研究では、日本人学生と韓国人留学生の男女それぞれ10名を調査対象（友人役）としているが、「共感的発話」は日本人学生、韓国人留学生ともに現れるのに対し、「対立的発話」は韓国人留学生に多い、という結果が見られた。「対立的発話」を日本人が行わないのは、相手が落ち込む話題を避けることが、日本人に一般的に共有される対人的配慮となっているからである。一方、韓国人にとっての「対立的発話」は、積極的に問題となっている話題を取り上げることで、相手に対して親身になり、相手の気持ちを鼓舞しようという意図を含んでいるものであり、これは、韓国人に一般的に共有される対人的配慮である。

可能性が高い。

3. 首都圏女性ペアの慰め談話の分析

3. 1. 談話構造と談話展開の主導権

依頼談話の電話会話を分析したザトラウスキー（1991）を参考に、首都圏女性ペアの場面3の談話構造を整理すると、次のようになる。

表1 慰め談話（場面3）の構造

		高年層ペア	若年層ペア
開始部		0001-0004 相手確認	0001-0003 相手確認
主 要 部	事態共有の ための談話	0005-0011 Bによる事情確認	0004-0008 Bによる事情確認
		0012-0024 Aによる事情説明	0009-0019 Aによる事情説明
		0025-0035 Bによる助言	0020-0041 事情の掘り下げ
		0036-0042 Aによる事情説明	
	事態打開の ための談話	0043-0055 Bによる助言	0042-0049 Bによる励まし
		0056-0060 Aによる仲立ちの依頼	0050-0051 総括（B励まし・A感謝）
		0061-0068 Bによる受諾	
		0069-0079 依頼・受諾の反復	
		0080-0084 総括（B励まし・A感謝）	
	終了部		0085-0088 別れの挨拶

慰め談話の主要部は、「事態共有のための談話」から「事態打開のための談話」へと展開する。高年層ペアの「事態打開のための談話」は、AがBに和解のための仲立ちを依頼するところから開始され、談話展開の主導権は慰められる側（A）が取っている。若年層ペアの「事態打開のための談話」は、Bが問題の事態に対する前向きな予測を示すところから開始され、談話展開の主導権は慰める側（B）が取っている。

3. 2. 慰めの要素の種類と現れ方

慰め談話の主要部に現れる、慰めの機能を持つBの発話を表2にまとめた。高年層ペア、若年層ペアともに、前半の「事態共有のための談話」には《心配》《共感》が現れ、後半の「事態打開のための談話」には《前向きな予測》《励まし》が現れる。

高年層ペアには《助言》も現れているが、本来は「事態打開のための談話」の中心となるはずの《助言》が、この会話の場合、0036から始まるAの「事情説明」によって遮られ、また、0056から始まるAの「仲立ちの依頼」によって遮られるという展開になっている。

若年層ペアでは、「事態共有のための談話」は、Bの質問に対してAが事情説明を加えていく形で展開する。こうして事態の共有が十分に図られた上で、Bは《前向きな予測》を切り出している。（「対立的発話」とまでは言えないが）問題のありかを十分に検討するこ

とで、事態の打開に向かう談話の流れが形成されている。

表2 慰め談話（場面3）の慰めの要素

	高年層ペア	若年層ペア
事態共有のための談話	・0011B：こ、あの、なんか怒らせちゃったんだって↑。《心配》 ・0025B：まあ、よくあることだよー。《共感》 ・0033B：なんか、まあちょっと、相手が結構気にしちゃったりね、《共感》 ・0035B：することあるけどー、まあ、でもさー、その、ほん、ほんとうにそうゆう気持ちじゃなかったってことをゆったらー↑。《助言》やっぱり。そんな気持ちはなかったのにー、なんか、あの一、誤解されちゃったら申し訳なかったですねー、みたいな感じでゆってみたらー↑、どうかしら。《助言》 ・0041B：んー、わかるわ、その気持ち。《共感》	・0006B：なんか、友達から聞いたんだけど、なんか、こ、先輩に怒られたとか、落ち込んでるって聞いたんだけど、大丈夫ー↑。《心配》 ・0024B：あ、書けなかった。それはしょうがないよね。《共感》 ・0040B：うーん、困ったねー。なんかでも書けないときはしょうがないよね、書けないから。《共感》
事態打開のための談話	・0051B：だった、だからさー、そんなに落ち込まないほうがいいよー。《助言》 ・0053B：もっかいゆってみたらー↑。《助言》 ・0073B：そしたらまあ、ちょっと、少し和らぐかもしれないしねー。《前向きな予測》 ・0081B：うん、うん、うん、元気出して、ファイティン。《励まし》	・0042B：で、たぶんDさんも、あんま普段そんな怒る人じゃないから、機嫌悪かったんじゃないの。{笑} 《前向きな予測》 ・0044B：うーん。大丈夫でしょー。《前向きな予測》 ・0046B：{笑} うん、大丈夫だよ。《前向きな予測》次、書けるようになればいいよー。《励まし》

4. まとめ

首都圏女性ペアの場面3の談話例を分析することにより、慰め談話が「事態共有のための談話」と「事態打開のための談話」から成ること、「事態共有のための談話」には《心配》《共感》、「事態打開のための談話」には《前向きな予測》《励まし》が現れることを見た。《助言》は慰め談話には必須ではないようである。また、慰める側と慰められる側のいずれが談話の主導権を取るかということも、慰め談話の展開と談話構成要素を比較する際の観点になることを見た。

参考文献

ザトラウスキー、ポリー(1991)「会話分析における「単位」について—「話段」の提案」『日本語学』10(10), 79-96.

菅野里美(2011)「慰めの談話の日韓比較」平成22年度秋田大学卒業論文.

日高水穂(2012)「「察し合い」の談話展開に見られる日本語の配慮言語行動」三宅和子・野田尚史・生越直樹編『「配慮」はどのように示されるか』ひつじ書房, 91-112.

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面3「慰め談話」

(1) 首都圏高年層女性ペア

【開始部】

相手確認	0001B：あ、もしも／／しー。	B：注目要求
	0002A：もしもし。	A：注目要求
	0003-1B：あ、	B1：注目表示
	0003-2B：A（名）ちゃん↑。	B2：情報要求
	0004A：うーん。	A：陳述・表出

【主要部】

事情確認	0005B：あ、なんかさー、ちょっと聞いたんだけどー。	B：陳述・表出
	0006A：うん。	A：注目表示
	0007B：自治会の一、	B：情報要求（1/3）
	0008A：うん。	A：注目表示
	0009B：なんか、ちょっと難しいさー、／／Dさんてゆ人をね、	B：情報要求（2/3）
	0010A：あー。	A：注目表示
	0011B：こ、あの、なんか怒らせちゃったんだって↑。	B：情報要求（3/3）《心配》
事情説明	0012-1A：んー、	A1：注目表示
	0012-2A：ちょ、ちょっとねー、／／あの、ほら、	A2：陳述・表出
	0013B：うん。	B：注目表示
	0014A：あたし、言葉悪いじゃない↑。	A：情報要求
	0015B：うん。	B：陳述・表出
	0016A：んでー、すぐにズケズケズケズケゆっちゃったタイプだから／／さー。	A：陳述・表出
	0017B：うん。	B：注目表示
	0018A：相手の痛いところ、じょうも、ゆっちゃったみたいなのよー。	A：陳述・表出
	0019B：あー、／／なるほどねー。	B：注目表示
	0020A：そしたらすごい気一使っ、向こうが、あの、気にしちゃってねー。	A：陳述・表出
	0021B：うん。	B：注目表示
	0022A：なんかー、あの、こっちに話しーかけてくれないのよね。	A：陳述・表出
	0023B：あー、そっ／／か。	B：注目表示
	0024A：うーん。	A：注目表示
助言	0025B：まあ、よくあることだよねー。	B：陳述・表出《共感》
	0026A：／／だけど、	A：（未完）
	0027B：ま、その、なんてゆうか、	B：陳述・表出（1/5）
	0028A：うん。	A：注目表示
	0029B：それほどさー、	B：陳述・表出（2/5）
	0030A：うん。	A：注目表示

	0031B：悪気じゃなくても一、	B：陳述・表出（3/5）
	0032A：うん。	A：注目表示
	0033B：なんか、まあちょっと、相手が結構気にしちゃったりね、	B：陳述・表出（4/5）
	0034A：うん。	A：注目表示
	0035-1B：することあるけど一、	B1：陳述・表出（5/5） 《共感》
	0035-2B：まあ、でもさ一、その、ほん、ほんとうにそうゆう気持ちじゃな かったってことをゆったら一↑。	B2：行為要求《助言》
	0035-3B：やっぱり。そんな気持ちはなかったのに一、なんか、あの一、誤 解されちゃったら申し訳なかったですね一、みたいな感じでゆっ てみたら一↑、どうかしら。	B3：行為要求《助言》
事 情 説 明	0036A：て、ゆったんだけど／／ね一↑。	A：陳述・表出
	0037B：うん。	B：注目表示
	0038A：相手がいつまでもグジュグジュグジュグジュゆってんのよ一。	A：陳述・表出
	0039B：あ一、／／すっ、	B：注目表示
	0040A：そ一すつとね一、いい加減にきなさいよって言いたくなっちゃって ね一、／／こっちも一。	A：陳述・表出
	0041-1B：ん一、	B1：注目表示
	0041-2B：わかるわ、／／その気持ち。	B2：陳述・表出《共感》
	0042-1A：わかるでしょ一。{笑}	A1：情報要求
	0042-2A：わたし一。	A2：陳述・表出（未完）
助 言	0043B：ね一、やっぱりほら、あの一、なんてゆ、言葉って難しいからね。	B：陳述・表出
	0044A：うん。	A：注目表示
	0045B：あの一、悪気じゃなくても、そゆふにね、取られちゃうこともある けれども一、	B：陳述・表出
	0046A：うん。	A：注目表示
	0047B：でもまあ、A（名）ちゃんの性格だったらさ一、やっ／／ぱり、そ んなに悪気でゆったんじゃないってことはさ一、	B：陳述・表出（1/2）
	0048A：うん。	A：注目表示
	0049-1B：やっぱり、わかってもらえると思うのよ一、	B1：陳述・表出（2/2）
	0049-2B：うーん。	B2：注目表示
	0050A：そうか／／な一。	A：注目表示
	0051-1B：うーん、そうよ一。	B1：注目表示
	0051-2B：だった、だからさ一、そんなに落ち込まないほうがいいよ一。	B2：行為要求《助言》
	0051-3B：やっぱりさ一、あの一、心で伝えれば伝わることもあるしね一。	B3：陳述・表出
	0052-1A：うん。	A1：注目表示
	0053B：もっかいゆってみたら一↑。	B：行為要求《助言》

	0054A : うん。	A : 注目表示
	0055B : うん、／／そん一、	B : 注目表示
依 頼	0056A : もしあれだった／／らさ、	A : 行為要求 (2/3)
	0057B : ん、ん。	B : 注目表示
	0058A : B (あだ名) ちゃん、ちょっと一、あの一、こ、なんつうの↑、ゆ つといてくれる↑。	A : 行為要求 (3/3)
	0059B : あ、あたしから↑。	B : 注目表示
	0060A : うーん。	A : 注目表示
受 諾	0061-1B : あ、そうね、	B1 : 注目表示
	0061-2B : Dさん、じゃ、あたしからさ一、	B2 : 陳述・表出 (1/4)
	0062A : うん。	A : 注目表示
	0063B : あの一、A (名) ちゃん、／／そんな悪気じゃなかったのに、	B : 陳述・表出 (2/4)
	0064-1A : ほんと、そんな。	A1 : 注目表示
	0064-2A : そうそうそうそうそう。	A2 : 注目表示
	0065B : 言葉がちょっと／／あの一、	B : 陳述・表出 (3/4)
	0066A : 強かった。	A : 陳述・表出
	0067B : 強かったってゆうふうに、話してみるわ一。	B : 陳述・表出 (4/4)
	0068A : うん。	A : 注目表示
依 頼 と 受 諾 の 反 復	0069B : あたしで良かったら一。	B : 陳述・表出
	0070-1A : うん、	A1 : 注目表示
	0070-2A : ちょっと、ゆつといてくれると助かるな一。	A2 : 陳述・表出
	0071B : そうだね一。	B : 注目表示
	0072A : ／／うん。	A : 注目表示
	0073B : そしたらまあ、ちょっと、少し和らぐかもしれないしね一。	B : 陳述・表出《前向 きな予測》
	0074A : ん一／／ん一。	A : 注目表示
	0075-1B : うん、	B1 : 注目表示
	0075-2B : じゃ、そんなことで、ちょっとあたし、これからお電話番号教え といて一↑。	B2 : 行為要求
	0075-3B : そしたら電話してみるから一。	B3 : 陳述・表出
	0076-1A : うん、	A1 : 注目表示
	0076-2A : じゃあ悪いんだけど一、	A2 : 関係づくり, 儀礼
	0077B : うん。	B : 注目表示
	0078A : 電話してみて↑。	A : 行為要求
総 括	0079-1B : うん、	B1 : 注目表示
	0079-2B : ／／わかりました。	B2 : 陳述・表出
	0080-1A : うん、それじゃあ／／ね一。	A1 : 注目表示
	0080-2A : よろしく。	A2 : 関係づくり, 儀礼

	0081-1B : うん、うん、うん、	B1 : 注目表示
	0081-2B : 元気出して、ファイティン。	B2 : 行為要求《励まし》
	0082A : ありがと。	A : 関係づくり, 儀礼
	0083B : んー。{笑}	B : 注目表示
	0084A : うん。	A : 注目表示

【終了部】

別 れ の 挨拶	0085B : じゃあ、また／／ねー。	B : 関係づくり, 儀礼
	0086-1A : うん、	A1 : 注目表示
	0086-2A : それ／／じゃあね。	A2 : 関係づくり, 儀礼
	0087-1B : はい、	B1 : 注目表示
	0087-2B : どうも、／／ごめんくださーい。	B2 : 関係づくり, 儀礼
	0088-1A : はい、	A1 : 注目表示
	0088-2A : どうもありがとー。	A2 : 関係づくり, 儀礼

(2) 首都圏若年層女性ペア

【開始部】

相 手 確 認	0001-1A : はい、	A1 : 注目表示
	0001-2A : もしもし。	A2 : 注目要求
	0002-1B : もしもし、	B1 : 注目要求
	0002-2B : A (あだ名) ちゃーん。	B2 : 注目要求
	0003-1A : うん、	A1 : 注目表示
	0003-2A : ／／B (あだ名) ↑。	A2 : 情報要求

【主要部】

事 情 確 認	0004-1B : う、うん、そうそう。	B1 : 陳述・表出
	0004-2B : なんか、	B2 : 陳述・表出 (未完)
	0005A : ／／うん。	A : 注目表示
	0006-1B : なんか、友達から聞いたんだけど、なんか、こ、先輩に怒られたとか、落ち込んでるって聞いたんだけど、	B1 : 陳述・表出
	0006-2B : 大丈夫ー↑。	B2 : 情報要求《心配》
	0007-1A : う、うん、	A1 : 陳述・表出
	0007-2A : あ、誰から聞いた、それ。{笑}	A2 : 情報要求
	0008-1B : あ、	B1 : 注目表示
事 情 説 明	0008-2B : なんか、Z／／くーん。{笑}	B2 : 陳述・表出
	0009-1A : {笑} うーん、	A1 : 注目表示
	0009-2A : あのねー、原稿をねー、	A2 : 陳述・表出 (1/2)
	0010B : うーん。	B : 注目表示
	0011A : すごい遅れちゃったんだよねー。	A : 陳述・表出 (2/2)

事 情 の 掘 り 下 げ	0012-1B : え、	B1 : 注目表示
	0012-2B : それ、Dさんに怒られたの↑。	B2 : 情報要求
	0013A : そうそうそうそう。	A : 陳述・表出
	0014B : あそっかー。	B : 注目表示
	0015A : 編集長に怒られたの。	A : 陳述・表出
	0016-1B : {笑} えー、	B1 : 注目表示
	0016-2B : Dさん、怒るんだ。	B2 : 陳述・表出
	0017A : そうそう。	A : 注目表示
	0018B : んー。	B : 注目表示
	0019A : すごい怖かったよー。	A : 陳述・表出
	0020-1B : えー、そうなの↑。	B1 : 注目表示
	0020-2B : なんで遅れちゃったの、原稿。	B2 : 情報要求
	0021A : うーんとね、ま、端的にゆうと、	A : 陳述・表出 (1/2)
	0022B : うん。	B : 注目表示
	0023A : 書けなかったから。	A : 陳述・表出 (2/2)
	0024-1B : あ、書けなかった。	B1 : 注目表示
	0024-2B : それはしょうがないよね。	B2 : 陳述・表出《共感》
	0025A : なんかねー、	A : 陳述・表出 (1/3)
	0026B : うん。	B : 注目表示
事 情 の 掘 り 下 げ	0027A : テーマ、旅なんだけどねー、	A : 陳述・表出 (2/3)
	0028B : うんうん。	B : 注目表示
	0029A : どうしても書けなくて、資料あさっても無理でー。	A : 陳述・表出 (3/3)
	0030B : うんうん。	B : 注目表示
	0031-1A : うーん、	A1 : 注目表示
	0031-2A : //どうしよ、どうしよ、どうしよーって	A2 : 陳述・表出 (1/3)
	0032B : うん、うん、うん。	B : 注目表示
	0033A : 悩んでたらー、	A : 陳述・表出 (2/3)
	0034B : うん。	B : 注目表示
	0035A : 締め切り過ぎてたー。	A : 陳述・表出 (3/3)
	0036-1B : そっかー。	B1 : 注目表示
	0036-2B : それ、あれかー、早めに連絡できなかった感じなの↑。	B2 : 情報要求
	0037A : そう、ちょっとねー。	A : 陳述・表出
	0038B : そっかー。	B : 注目表示
	0039A : うーん。	A : 注目表示
	0040-1B : うーん、	B1 : 注目表示
	0040-2B : 困ったねー。	B2 : 陳述・表出
	0040-3B : なんかでも書けないときはしょうがないよね、書けないから。	B3 : 陳述・表出《共感》
	0041A : うー//ん。	A : 注目表示

励まし	0042B：で、たぶんDさんも、あんま普段そんな怒る人じゃないから、機嫌悪かったんじゃないの。{笑}	B：陳述・表出《前向きな予測》
	0043-1A：あそうかも。	A1：注目表示
	0043-2A：／／うーん。	A2：注目表示
	0044-1B：うーん。	B1：注目表示
	0044-2B：大丈夫でしょー。	B2：陳述・表出《前向きな予測》
	0045A：あした、うん、ちゃんと謝る。／／ {笑}	A：陳述・表出
	0046-1B：{笑} うん、	B1：注目表示
	0046-2B：大丈夫だよ。	B2：陳述・表出《前向きな予測》
	0046-3B：次、書けるようになればいいよー。	B3：陳述・表出《励まし》
	0047A：うーん。	A：注目表示
総括	0048-1B：うん、	B1：注目表示
	0048-2B：あたしもがんばって書くから。／／ {笑}	B2：陳述・表出
	0049-1A：{笑} そうだね。	A1：注目表示
	0049-2A：今度一緒書こうね。	A2：行為要求
	0050-1B：うーん、	B1：注目表示
総括	0050-2B：書こうね。	B2：行為要求
	0050-3B：よーし、大丈夫だねー。／／ {笑}	B3：情報要求
	0051A：{笑} ／／ありがとー。	A：関係づくり，儀礼

【終了部】

別れの挨拶	0052-1B：じゃあまた、	B1：関係づくり，儀礼
	0052-2B：学校で会おうね。	B2：行為要求
	0053-1A：うーん、	A1：注目表示
	0053-2A：じゃまたねー。	A2：関係づくり，儀礼
	0054B：うん。	B：注目表示
	0055A：ありがとー。	A：関係づくり，儀礼
	0056-1B：いいえー、	B1：注目表示
	0056-2B：バイバーイ。	B2：関係づくり，儀礼
	0057A：バイバーイ。	A：関係づくり，儀礼

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面4「勧誘談話」

小西 いずみ

(広島大学)

1. 場面設定

ペア入れ替え式ロールプレイ会話調査の場面4「勧誘談話」では、次のように場面を設定した。若年層では「自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）」としている。

(1) 場面設定（場面4・高年層）

[A（電話の受け手）への指示] Bさんから電話がかかってきます。Bさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Bさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

[B（電話のかけ手）への指示] 日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。Aさんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

「勧誘」は、相手に行為を要求するという点で「依頼」と共通するが、行為の共同性や、行為の結果の利益の帰属先という点で異なる。ただし、今回対象とした首都圏男性高年層・若年層各1組の談話では、直接的な行為の促し表現として勧誘形より依頼形が優先して現れた。かけ手は受け手がいったん断ることを予期していたため、要求する行為の負担が大きいという前提に立って方略を計画したと推測される。また、高年層ペアは兄弟で、Bが設定したイベント（勧誘対象の事態）ではB本人が幹事という前提となっていた。これらの点から、結果として、両ペアとも、典型的な勧誘場面とは言い難いものとなった。

2. 先行研究

ザトラウスキー(1986a、b)は、電話で友人をお茶会に誘うという勧誘の談話の文字化資料を提示し、その談話展開の構造と表現を分析している。話者の年齢・性別は明記されていないが、「お茶会」という点や言葉遣いから、中年層女性どうしだと推測される。ザトラウスキーはこの談話の展開を次のように捉えている。

- (1)あいさつ、呼びかけ→(2)勧誘の情報提供→(3)勧誘→(4)情報提供の付加→
(5)細部の確認、了承→(6)情報提供の付加→(7)了承、終わり→
(8)情報提供の付加→(9)細部の確認、了承、別れ→(10)雑談

すなわち、(5)でいったん「了承」の段階に至りながらさらに「情報提供の付加」があり、(7)から(8)でもそれが繰り返されている。(10)「雑談」も細部の確認・情報提供の付加ともみなせる内容である。展開単位の移行部分では、「相づち」などの実質的な話題を含まない「談話の最小単位」の連続や、普通体からデスマス体への変化が見られるという。また、(2)以降、誘う側は相手の積極性に応じて情報提供や勧誘の積極性を変化させている。(7)や(10)で、談話の終結を示す表現として「お願いします」という丁寧な定型表現が現れることにも、ザトラウスキーは着目している。

熊谷・篠崎(2006)は「荷物預け」「往診」「釣銭確認」という依頼の談話において、相手に対する働きかけの機能を担う「機能的要素」を抽出し、その上位分類としての「コミュニケーション機能」を設定している。例えば「荷物預け」では次の要素が見られる。

〈きりだし〉注目喚起、用件

〈状況説明〉事情、不都合

〈効果的補強〉請け合い

〈行動の促し〉預かりの依頼、依頼の念押し、意向の確認

〈対人配慮〉恐縮の表明

〈 〉内がコミュニケーション機能

3. 首都圏男性ペアの勧誘談話の分析

3. 1. 談話構造

首都圏男性ペアの勧誘場面の談話構造は、次のとおりである。

表 1 勧誘談話（場面 4）の構造

	高年層ペア	若年層ペア
開始部	0001-0002 相手確認	0001-0002 相手確認
主要部	0003 用件確認 (A) 0004 情報提供と勧誘 (B) 0005-0012 細部の確認 (A) と 情報付加 (B) 0013-0036 不都合の表明 (A) と 説得 (B) 0037-0060 行為実現に向けた調整 0061 了承 (A) 0062-0074 念押し (B) と了承 (A)	0003 用件確認 (A) 0004-0012 情報提供 (B) 0013-0016 細部の確認 (A) と 情報付加 (B) 0017 用件の再確認 (A) 0018-0020 情報提供と勧誘 (B) 0021-0024 不都合の表明 (A) 0025-0032 細部の確認 (A) と 情報付加 (B) 0033-0040 不都合の再表明 (A) と 説得 (B) 0041-0076 行為実現に向けた調整 0077-0079 了承 (A)

		0080-0090 念押し (B) と了承 (A) 0091-0093 用件終了の確認 (A)
終了部	(主要部から連続)	0093-0094 ねぎらい (A・B)

「行為実現に向けた調整」としたものには次のような下位構造が見いだせる。

高年層ペア：0037-0045 情報付加 (A)、0046-0048 再勧誘 (B)、0049-0052 不都合の表明 (A)、0053-0060 提案 (A・B)

若年層ペア：0041-0053 支持表明 (A) と情報の再付加 (B)、0054-0060 提案 (B)、0061-0064 細部の確認 (A) と情報付加 (B)、0065-0076 提案の了承・依頼 (A) と了承 (B)

主要部は、両ペアとも、「用件確認」から「勧誘」を経て「不都合の表明と説得」に至る前半と、「行為実現に向けた調整」から「了承」を経て「念押しと了承」に至る後半に分けられる。「行為実現に向けた調整」が起こるのは場面設定の指示に即したもののだが、その調整のしかたは今回対象とした2ペア間でかなり異なっている。

高年層の主要部では、「用件確認」(A) と「情報提供と勧誘」(B) が各1発話の往復で達成される。その後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) の反復があり、「不都合の表明」(A) と「説得」(B) が反復される。「説得」は周辺情報の付加や主張から成る。「行為実現に向けた調整」は、Aが自身の不都合についての「情報付加」を行うことで始まる。Bはその情報を受けて行為実現が可能だと判断、「再勧誘」するが、Aは新たに「不都合の表明」を行う。その後、A・Bが相互の発話を補い合いながら言わば協同的に「Aは会に遅刻するが参加する」という趣旨の「提案」を行い、Aが「了承」する。その後、定型表現「よろしく」を交えて「念押し」(B) と「了承」(A) の反復が続き、談話が終了する。

若年層での主要部では、「用件確認」(A)、「情報提供」(B) の後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) の反復を経て、改めて「用件の再確認」(A) があり、Bが明示的な「勧誘」を行う。Aの「不都合の表明」の後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) を挟み、再度「不都合の表明」(A)、「説得」(B) となる。このAの「細部の確認」は「不都合の表明」の補強を意図したものでしょう。「行為実現に向けた調整」は、「情報付加」(B) に対する「支持表明」(A) から始まる。Bは「情報の再付加」を行った上で、譲歩した「提案」を行う。Aはそれを「了承」するとともにその実現を助ける行為の「依頼」を行い、Bが「了承」、Aがイベント出席を「了承」する。ここでAは、笑いを交えて「そうゆう方向で、よろしく願います」という過度に丁寧な定型表現を用いた。ザトラウスキー (1986a, b) の指摘どおり、丁寧な定型表現を使うことによって談話展開の単位の終結・移行が示されるとともに、ここではAの行為実現のためにBが「共犯」となることが相互

了解されており、定型表現と笑いは、その関係の確認とそれに対する「茶化し」「照れ」が顕在化したものと言える。終結部が「ねざらい」なのも特徴的である。

3. 2. 勧誘の要素

熊谷・篠崎(2006)を参考に、主要部に現れた、勧誘の機能を持つ要素を抽出した。表2に示す。上位カテゴリのうち、〈行動の促し〉が、勧誘行為に直接対応する部分となる。

表2 勧誘の要素

	高年層ペア	若年層ペア
きりだし	注目喚起	注目喚起
状況説明	イベント提示	イベント提示
行動の促し	都合の確認、依頼、勧誘、意向の確認	依頼、定型表現による念押し
効果的補強	補足情報の提示、重要性の主張 第3者の情報の提示、不都合の否定、 不都合への対処の提示、脅し、期待表明	補足情報の提示、当為性の主張 利益の提示、解決法の提案、 不利益がないことの保証
対人配慮	謝罪	(なし)

両ペアを比べると、高年層は、①〈行動の促し〉として《依頼》《勧誘》という直接的な行為要求表現のほか《都合の確認》《意向の確認》という間接的な表現を使っている、②〈効果的補強〉のバリエーションが多い、③〈対人配慮〉の表現を使っている、という点が指摘できる。総じて高年層は、対人的に配慮しつつ、行為実現のための方略を駆使している。

表3、4に、高年層・若年層それぞれの具体例を談話展開に沿って示す。

表3 高年層ペアにおける勧誘の要素の出現

情報提供・勧誘	0004：あのさ《注目喚起》、今度の日曜日さ、そろそろおやじをしのぶ会みたいのをやろうと思ってんだけど《イベント提示》、日曜日、予定空いてるかな《都合の確認》。 0006：うーん、でき、できたらさ、上野の、あの一、江知勝あたりでさ、あ一、一杯飲んで、昔話でしようかなーと思ってんだけど《補足情報の提示》、どうだろう《都合の確認》。
説得	0016：えー《注目喚起》、だっておやじの会だぞ、おまえ《重要性の主張》。どっちが大事だか考えて、そ一、うん。こっち来てくれよ、おまえ《依頼》。だめかい《都合の確認》。 0022：あ、そっか、悪かったな、そりゃな《謝罪》。だけどこれな、うーん、ソモン会も大事かもしれないけど、おやじの会なんだからさ《重要性の主張》、ん一、なんとか、うん。ん一、都合できないかな《都合の確認》。ん一、Yもうまく時間空きそうなんで《第3者の情報の提示》。 0026：うん、会費、8千円ぐらいなんだけど、うん。まあ、俺たち飲むから、うん。ま、一人1万円の予定で、え一、うん。一杯飲みたいなーと、思ってんだけど《補足情報の提示》、どうだろう《都合の確認》。

行為実現に向けた調整	0042：うん、大丈夫↑。《都合の確認》 0046：あ、じゃあ、30分あれば一、うん。上野まで来られるな《不都合の否定》。あ、じゃあ、行こ行こ。《勧誘》 0056：かんば、うん、乾杯、は、先に始めてるからさ。あの一、来るもの食ってるから《不都合への対処の提示》。そのかわり肉なくなるぞ、おまえ。遅れて来るから《脅し》。いいかい、それでも《意向の確認》。
念押し	0066：はい、待ってまーす。《期待表明》 0068：でも、追加の肉は高いから。《脅し》 0070：来てくれよー。《依頼》 0072：楽しみにしてまーす。《期待表明》 0074：はい、待ってまーす。《期待表明》

表4 若年層ペアにおける勧誘の要素の出現

情報提供・勧誘	0004：えっとさー《注目喚起》。日曜日に、なんか、なんだろ、研究室の、なんか、の、飲み会が、こう、なんかあるんだよね、夜《イベント提示》。だから、《※言いさし》 0018：飲み会、飲み会があるからー《イベント提示》、ちょっと、うん、ちょっと、来てくれないかな《依頼》。
説得	0028：なんかもう、学部も、普通に、ま、みんな来い、みたいな感じで。《補足情報の提示》 0034：いや、でもさ、いやー、断れないっしょ、あれは。うん。《当為性の主張》 0040：んー、でもねー、《※言いさし》
行為実現に向けた調整	0044：けっこ、い、毎回結構、人がかわるからさ、なんだろ、やっぱり、絶対なんかおもしろい、出会いかあるでしょ、あの人。《利益の提示》 0054：んー、だから、次の日に、影響が出ない程度に一、飲めばいいんじゃないかな。《解決法の提案》 0072：そりゃ、そりゃでも、全然大丈夫だと思うよ。《不利益がないことの保証》 0074：あー。《不利益がないことの保証》 0076：あー。《不利益がないことの保証》
念押し	0084：じゃあ、よろしくね。《定型表現による念押し》 0086：あー、オッケ、オッケ。《不利益がないことの保証》

高年層ペアでは、最初の〈行為の促し〉は間接的な《都合確認》で、その後も《補足情報の提示》などの〈効果的補強〉と組み合わせた《都合確認》が繰り返される。〈効果的補強〉としてイベントの《重要性の主張》と組み合わせた場合は直接的《依頼表現》がある。また、「行為実現に向けた調整」段階では、Aが都合を再確認する際は「大丈夫↑」と《都合の確認》で配慮を示しながら、Aが回答するとすかさず《不都合の否定》に直接的な《勧誘》が続く。さらに「調整」段階の後部に現れる「遅れてくると肉がなくなる」という冗談めいた《脅し》と《意向の確認》が続く。〈効果的補強〉の効果の度合いや対人的配慮の

必要性に応じて〈行為の促し〉表現の直接／間接性が選択されていると言える。「念押し」の段階では、《脅し》や《依頼》を反復させながら「待っている」「楽しみ」という《期待表明》が繰り返される。対人配慮をしつつ、やや定型的な表現を使って談話の終結へと至っている。

若年層の場合、Bは、0004 で《イベント提示》後、〈行為の促し〉を続けるつもりで発話したが、Aが「細部の確認」割り込み、言いさした。その後、Aの「用件の再確認」に応じて簡略な《イベント提示》と《依頼》を明示する。「説得」の段階での要素の出現数が高年層に比べて少ない。0028 はAが「Yさんが誘えと言ったのか」と「細部の確認」を行ったのに対する回答だが、それを「学部も、普通に」「みんな来い」と言い換える。直接的には《補足情報の提示》だが、間接的に勧誘行為の《妥当性の主張》となっている。0040 は〈効果的補強〉に属すると推測されるが言いさし。AがYに対する恩義を表明する形で譲歩の姿勢を見せることで、「行為実現に向けた調整」の段階に入る。0044 でBはAの「Yさん」への評価を利用してイベント出席の《利益の提示》をし、Aがそれを支持したのを受け、間をおかず、Aの不都合（酒が飲めない）の《解決法の提案》へと続ける。Aがその解決法を採用し、予めYにその旨断るよう依頼・念押しするのに対し、0072、74、76 でそれを請け負う形で《不利益がないことの保証》を行う。「念押し」の段階では、「よろしくね」という《定型表現による念押し》、Aの問いかけに対する《不利益がないことの保証》を繰り返す。Bは全体を通じて、明示的な行為指示表現は《依頼》のみである。Aにとって負担となる誘いであることを予期していたためだろうか。AがBの発話の意図を推論して発話にわりこみ、主導権を握ることが多いことも〈行為の促し〉や〈効果的補強〉が少なかった一因と考えられる。

4. まとめ

談話例の分析により、勧誘の談話において、必ずしも《勧誘》という〈行為の促し〉が直接的に顕現せず、《都合・意向の確認》や《依頼》という表現でなされることが多いと分かった。また、〈効果的補強〉と〈行為の促し〉との組み合わせにおいて、前者の効果や対人配慮の必要性を見積もりながら、後者の直接／間接性を選択していることもうかがえた。

勧誘表現が顕現しないという点に関しては、ロールプレイ開始前の指示において、相手が断る可能性を予期させたため、過度に配慮した面もあったらうと思われる。ただ、原理的には「勧誘」と「依頼」とは、行為の共同性や利益の帰属先において相違がありながらも連続的なものであり、行為の負担の見積もりや対人配慮によって、表現が選択されると考えたほうがよいだろう。

参考文献

熊谷智子・篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

ザトラウスキー, ポリー(1986a)「談話の分析と教授法(1)勧誘表現を中心に」『日本語学』5
巻 11 号

ザトラウスキー, ポリー(1986b)「談話の分析と教授法(2)勧誘表現を中心に」『日本語学』5
巻 12 号

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面4「勧誘談話」

(1) 首都圏高年層男性ペア

【開始部】

相手確認	0001-1	A	はい、	注目表示
	0001-2	A	A（姓）です。	陳述・表出
	0002-1	B	はい、	注目表示
	0002-2	B	B（名）です。	陳述・表出

【主要部】

確認 用件	0003-1	A	あ、	注目表示
	0003-2	A	なーに。	情報要求
情報 提供 と 勧誘	0004-1	B	あのさ、	注目要求 《注目喚起》
	0004-2	B	今度の日曜日は、そろそろおやじをしのぶ会みたいのをやろうと 思ってたけど、	陳述・表出 《イベント提示》
	0004-3	B	日曜日、予定空いてるかな。	情報要求 《都合の確認》
細部 の確認 と 情報 付加	0005-1	A	えっ、	注目表示
	0005-2	A	日曜だったって、あさってじゃない。	情報要求
	0006-1	B	うん、	注目表示
	0006-2	B	あさってだけど。	陳述・表出
	0006-3	B	うーん、	注目表示
	0006-4	B	でき、できたらさ、上野の、あの一、江知勝あたりでさ、あー、 一杯飲んで、	陳述・表出(1/2)
	0007	A	／／うん。	注目表示
	0008-1	B	昔話でもしようかなーと思ってんだけど、	陳述・表出(2/2) 《補足情報の提示》
	0008-2	B	どうだろう。	情報要求 《都合の確認》
	0009-1	A	えっ、	注目表示
	0009-2	A	ちょっと待って。	行為要求
	0009-3	A	時間は↑。	情報要求
	0010-1	B	んー、	注目表示
	0010-2	B	夕方6時から。	陳述・表出
	0011	A	6時か／／ら。	注目表示
	0012-1	B	うん、	注目表示

	0012-2	B	／／6時から。	陳述・表出
不都合の表明と説得	0013	A	この日ねー、	陳述・表出(1/2)
	0014	B	うん。	注目表示
	0015	A	ソモン会の会議が入ってんだよ。	陳述・表出(2/2)
	0016-1	B	えー、	注目表示 《注目喚起》
	0016-2	B	だっておやじの会だぞ、おまえ。	陳述・表出 《重要性の主張》
	0016-3	B	どっちが大事だか考えて、そー、	行為要求(1/2)
	0017	A	／／うん。	注目表示
	0018-1	B	こっち来てくれよ、おまえ。	行為要求(2/2) 《依頼》
	0018-2	B	／／だめかい。	情報要求 《都合の確認》
	0019	A	だって命日はまだちょっと先だった／／からさ、	陳述・表出
	0020	B	うーん。	注目表示
	0021	A	まさかぶつかるとは思わなかつたよ。	陳述・表出
	0022-1	B	あ、そっか、	注目表示
	0022-2	B	悪かったな、そりゃな。	関係づくり，儀礼 《謝罪》
	0022-3	B	だけどこれな、うーん、ソモン会も大事かもしれないけど、おやじの会なんだからさ、	陳述・表出 《重要性の主張》
	0022-4	B	んー、なんとか、	行為要求(1/2)
	0023	A	／／うん。	注目表示
	0024-1	B	んー、都合できないかな。	行為要求(2/2) 《都合の確認》
	0024-2	B	んー、＼もうまく時間空きそうなんで。	陳述・表出《第3者の情報の提示》
	0024-3	B	会／／費一、	(未完発話)
	0025	A	あ、みんな来る／／の。	情報要求
	0026-1	B	うん、	陳述・表出
	0026-2	B	会費、8千円／／ぐらいなんだけど、	陳述・表出
	0027	A	うん。	注目表示
	0028	B	まあ、／／俺たち飲むから、	陳述・表出
	0029	A	うん。	注目表示

	0030	B	ま、一人1万円の予定で、えー、	陳述・表出(1/2)
	0031	A	うん。	注目表示
	0032-1	B	一杯飲みたいなーと、思ってたけど、	陳述・表出(2/2) 《補足情報の提示》
	0032-2	B	どうだろ。	情報要求 《都合の確認》
	0033	A	ろ、6時でしょ。	情報要求
	0034	B	うん、／／6時、6時。	陳述・表出
	0035	A	6時、6時。	注目表示
	0036	B	うん。	注目表示
行為実現に向けた調整	0037-1	A	えー、	注目表示
	0037-2	A	ちょっと待ってよ。	行為要求
	0038	B	うん。	注目表示
	0039-1	A	会、会のプリント見てみる／／からね。	陳述・表出
	0039-2	A	ちょっと待ってね。	行為要求
	0040	B	うん、うん、うん、ちょっと待ってる待ってる待ってる。	陳述・表出
	0041	A	あ、あ、ええとね、	注目要求
	0042-1	B	うん、	注目表示
	0042-2	B	大丈夫↑。	情報要求 《都合の確認》
	0043	A	よ、4時からで、	(未完発話)
	0044	B	うん。	注目表示
	0045	A	5時半頃には終わるね。	陳述・表出
	0046-1	B	終わるか。	注目表示
	0046-2	B	あ、じゃあ、30分／／あればー、	(未完発話)
	0047	A	うん。	注目表示
	0048-1	B	上野まで来られるな。	陳述・表出 《不都合の否定》
	0048-2	B	あ、じゃあ、行こ行こ／／行こ。	行為要求《勧誘》
	0049-1	A	んー、	注目表示
	0049-2	A	ちょっと、	(未完発話)
	0050	B	／／うん。	注目表示
	0051	A	30分じゃ、	陳述・表出

	0052-1	B	え、／／無理か。	注目表示
	0052-2	B	うん。	注目表示
	0053	A	とにかく、じゃあ、	(未完発話)
	0054	B	じゃ、／／少し、うん。	注目表示
	0055-1	A	うんうん。	注目表示
	0055-2	A	あの、／／会議は会議で終わらして。	陳述・表出
	0056-1	B	かんぱ、うん、乾杯、は、先に始めてるからさ。	陳述・表出 《対処の提示》
	0056-2	B	あの一、	注目要求
	0057	A	／／はい。	注目表示
	0058-1	B	来るもの食ってるから。	陳述・表出 《対処の提示》
	0058-2	B	そのかわり肉なく／／なるぞ、おまえ。	陳述・表出《脅し》
	0059	A	{笑}	注目表示
	0060-1	B	遅れて来るから。	陳述・表出
	0060-2	B	／／いいかい、それでも。	情報要求 《意向の確認》
了承	0061	A	{笑} はい、わかった。	陳述・表出
念押しと了承	0062-1	B	はい、	注目表示
	0062-2	B	／／あー、じゃ、さ、	(未完発話)
	0063-1	A	じゃあ、なんとか、／／少し遅刻するけど、	陳述・表出
	0063-2	A	うん、	注目表示
	0064-1	B	8千円だな、	陳述・表出
	0064-2	B	うんうん。	注目表示
	0065-1	A	うん。	注目表示
	0065-2	A	／／行きます、行きます。	陳述・表出
	0066-1	B	はい、	注目表示
	0066-2	B	待ってまーす。	陳述・表出 《期待表明》
	0066-3	B	うん。	注目表示
	0067	A	／／はい。	注目表示
	0068	B	でも、／／追加の肉は高いから。	陳述・表出《脅し》
	0069-1	A	じゃ、はい、	注目表示
	0069-2	A	楽しみに、	陳述・表出

	0069-3	A	はい。	注目表示
	0070-1	B	来てくれよー。	行為要求《依頼》
	0070-2	B	はい。	注目表示
	0071-1	A	はい、	注目表示
	0071-2	A	わかり／／ました。	陳述・表出
	0072	B	楽しみにしてまーす。	陳述・表出 《期待表明》
	0073-1	A	はい。	注目表示
	0073-2	A	はい、	注目表示
	0073-3	A	じゃ、よろ／／しく。	関係づくり、儀礼
	0073-4	A	はい、	注目表示
	0073-5	A	行きまーす。	陳述・表出
	0074-1	B	はい、	注目表示
	0074-2	B	待ってまーす。	陳述・表出

(2) 首都圏若年層男性ペア

【開始部】

相手 確認	0001	A	もしもし。	注目要求
	0002-1	B	あー、	注目表示
	0002-2	B	もしもし、	注目要求
	0002-3	B	A (姓)。	陳述・表出

【主要部】

確認 用件	0003-1	A	ん↑、	注目表示
	0003-2	A	どした。	情報要求
情報 提供	0004	B	えっとさー。	注目要求 《注目喚起》
	0005	A	うん。	注目表示
	0006	B	日曜日に、なんか、	(未完発話)
	0007	A	うん。	注目表示
	0008	B	なんだろ、研究室の、なんか、	(未完発話)
	0009	A	うん。	注目表示
	0010	B	の、飲み会が、こう、なんかあるんだよね、夜。	陳述・表出 《イベント提示》
	0011	A	うん。	注目表示
	0012	B	だから、	(未完発話)

細部の確認と情報付加	0013	A	それって来週↑。	情報要求
	0014-1	B	あー、	注目表示
	0014-2	B	そうそうそうそう。	陳述・表出
	0015-1	A	来週の日曜。	注目表示
	0015-2	A	あ、それってさー、Yさんの、あの、ん、あの例の飲み↑。	情報要求
	0016-1	B	{間} あーあーあーあー。	注目表示
	0016-2	B	いや、そうそうそう。	陳述・表出
用件の再確認	0017-1	A	あ、	注目表示
	0017-2	A	で↑。	情報要求
	0017-3	A	あ、	注目表示
	0017-4	A	ごめんごめん。	関係づくり、儀礼
	0017-5	A	それで↑。	情報要求
	0017-6	A	その飲み会がどうしたの。	情報要求
情報提供と勧誘	0018	B	飲み会、飲み会があるからー、／／ちょっと、	陳述・表出 《イベント提示》
	0019-1	A	うん。{間}	注目表示
	0019-2	A	うん。	注目表示
	0020-1	B	うん、	注目表示
	0020-2	B	ちょっと、来てくれないかな。	行為要求《依頼》
不都合の表明	0021-1	A	えっ、	注目表示
	0021-2	A	俺↑。	情報要求
	0022	B	うん。	陳述・表出
	0023-1	A	いやいやいやいや。	注目表示
	0023-2	A	ちょっとさー。	(未完発話)
	0023-3	A	いや、いいっしょ。	陳述・表出
	0023-4	A	行ったら俺、飲まされるから。	陳述・表出
	0023-5	A	俺弱いからさー、お酒。	陳述・表出
	0024	B	うん。	注目表示
細部の確認と情報付加	0025-1	A	なんで。	情報要求
	0025-2	A	Yさんが、こう、行け、みたいな感じで言われたの。	情報要求
	0026	B	／／いやー、なんか、	注目表示
	0027	A	あの、誘えよ、みたいな。	情報要求
	0028-1	B	そうそう。	陳述・表出
	0028-2	B	なんかもう、	陳述・表出(1/3)
	0029	A	うん。	注目表示
	0030	B	学部も、	陳述・表出(2/3)
	0031	A	うん。	注目表示

	0032	B	普通に、ま、みんな来い、みたいな感じで。	陳述・表出(3/3) 《補足情報の提示》
不都合の再表明と説得	0033-1	A	いやー、	注目表示
	0033-2	A	いいっしょ、別に。	陳述・表出
	0033-3	A	ちょー、	注目要求
	0033-4	A	日曜さー、	(未完発話)
	0033-5	A	うーん、	注目表示
	0033-6	A	日曜でしょ。	情報要求
	0033-7	A	いやー、	注目表示
	0033-8	A	ごめん。	関係づくり、儀礼
	0033-9	A	ちょっと日曜ちょっと、それ、パスっての、頼むわ。	行為要求
	0033-10	A	ちょっと、なんか、んー。	(未完発話)
	0034-1	B	いや、	注目表示
	0034-2	B	でもさ、	陳述・表出(1/2)
	0035	A	うん。	注目表示
	0036-1	B	いやー、断れないっしょ、あれは。	陳述・表出(2/2) 《当為性の主張》
	0036-2	B	うん。	注目表示
	0037-1	A	いや、	注目表示
	0037-2	A	わかるけどさー。	陳述・表出
	0037-3	A	ちょっと俺、もう、この前さー、飲み行っって吐いちゃってさー。	陳述・表出
	0037-4	A	あの、Dさんから、こう、なん、もう、Yさんと関わるな、みたいな感じ、い、言ってく、言ってきちゃってるじゃん。	陳述・表出
	0038	B	あー。	注目表示
	0039-1	A	だから、だーら、俺、B（あだ名）ちゃんとか、迷惑かけてないからいいんだけどさー。	陳述・表出
	0039-2	A	俺、そうゆうのがちょっと前あったからさー。	陳述・表出
	0039-3	A	ちょっと、あん、あの一、あんま、Yさんとは、ちょっとあんま、飲み会はちょっとなしにしようかなー、みたいな、思ったんだけど。	陳述・表出
	0040-1	B	ふーん。	注目表示
	0040-2	B	んー、	注目表示
	0040-3	B	でもねー、	(未完発話)
	0041-1	A	うん。	注目表示
	0041-2	A	まあね、わかるよ。確かに。	陳述・表出
	0042	B	／／うん。	注目表示
	0043	A	Yさんには、よくしてもらってるからさ。{笑}	陳述・表出
	0044	B	けっこ、い、毎回結構、	(未完発話)

行為実現に向けた調整	0045	A	／／うん。	注目表示
	0046	B	人がかわるからさ、	陳述・表出
	0047	A	うん。	注目表示
	0048	B	なんだろ、やっぱり、絶対なんかおもしろい、	(未完発話)
	0049	A	／／うん。	注目表示
	0050	B	出会いとかあるでしょ、あの人。	陳述・表出(1/2) 《利益の提示》
	0051-1	A	あー、わかる、	注目表示
	0051-2	A	／／んー。	注目表示
	0052	B	あれだったら。	陳述・表出(2/2)
	0053	A	確かにね。{笑}	注目表示
	0054	B	んー、だから、	(未完発話)
	0055	A	うん。	注目表示
	0056	B	次の日に、	(未完発話)
	0057	A	うん。	注目表示
	0058	B	影響が出ない程度に一、	(未完発話)
	0059	A	うん。	注目表示
	0060	B	飲めばいいんじゃないかな。	陳述・表出 《解決法の提案》
	0061-1	A	あー、	注目表示
	0061-2	A	で一、何時ぐらいから。夕方↑。	情報要求
	0062-1	B	そ、そ、そう。	注目表示
	0062-2	B	まあ、6時ぐらいから。	陳述・表出
	0062-3	B	は、／／早いから。	陳述・表出
	0062-4	B	うん。	注目表示
	0063-1	A	あ、あー、	注目表示
	0063-2	A	夕方6時ね↑。	情報要求
	0064	B	／／うん。	陳述・表出
	0065-1	A	来週日曜の、んー。	注目表示
	0065-2	A	で一、じゃさー、ちょっ、早上がり、で、じゃあ、するから。	陳述・表出
	0066	B	うん。	注目表示
	0067-1	A	あの一、B（あだ名）ちゃんもさー、あの、Yさんに、ちょっと、じゃ、伝えといてよ。	行為要求
	0067-2	A	あの一、A（姓）が、こう、来て、あの一、ま、7時半、は、8時ぐらいかな↑。8時ぐらいに、一応、あの一、あした朝早いんで、ちょっと今日はここで上がりますって言ったとき、あの一、一応、上がる、よ、上がるってゆうような感じでさ、ちょっと、伝えといて、前もって。	行為要求
	0068	B	あー、わ、んー。	注目表示

	0069	A	それが、そうふうな感じで、もしオッケーなら、	(未完発話)
	0070	B	／／うん。	注目表示
	0071-1	A	じゃあまあ、行くよ、じゃあ。	陳述・表出
	0071-2	A	うん、	注目表示
	0071-3	A	／／お世話になってるから。	陳述・表出
	0072	B	そりゃ、そりゃでも、全然大丈夫だと思うよ。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0073	A	／／ほんと↑。	情報要求
	0074	B	あー。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0075	A	いい↑。	情報要求
	0076	B	あー。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
了承	0077	A	じゃあ、ちょっと、そうゆう方向で、{笑} よろしく願います。	関係づくり、儀礼
	0078	B	はい。	注目表示
	0079	A	うん。	注目表示
念押しと了承	0080	B	じゃあ。	(未完発話)
	0081	A	じゃあ、来週の日曜ね。	陳述・表出
	0082	B	うん。	注目表示
	0083	A	わかった。	注目表示
	0084	B	じゃあ、よろしくね。	関係づくり、儀礼 《定型表現による念押し》
	0085-1	A	はい、	注目表示
	0085-2	A	わか、んー、わか、んじゃ。	(未完発話)
	0085-3	A	じゃ、Dさんには、ちょっとないしょにしといてよ。じゃ、この／／こと。	行為要求
	0086-1	B	あー、	注目表示
	0086-2	B	オッケ、オッケ。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0086-3	B	／／うん。	注目表示
	0087-1	A	うん。	注目表示
	0087-2	A	じゃ、それでー、そいつ、それで、じゃあ、お願いします。	関係づくり、儀礼
	0088	B	はいーい。	注目表示
	0089-1	A	はい。{笑} わかりました。	注目表示
	0089-2	A	じゃあ、来週の日曜で、よろしく。	関係づくり、儀礼
	0090	B	はい。	注目表示

用件終了の確認	0091-1	A	うん。	注目表示
	0091-2	A	じゃ、あ、以上、それだ／／け↑。	情報要求
	0092-1	B	あー、	注目表示
	0092-2	B	それだけ、／／うん。	陳述・表出
	0093-1	A	あ、わかった。	注目表示
	0093-2	A	じゃあまた、あの、再度、また連絡くださいー。	行為要求

【終了部】

ねぎらい	0093-3	A	お疲れさまでー／／す。	関係づくり, 儀礼
	0094-1	B	はい、	注目表示
	0094-2	B	お疲れー。	関係づくり, 儀礼

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面1「出欠確認談話」

酒井 雅史
(大阪大学大学院)

1. 場面設定

リーグ戦式ロールプレイ調査（以下、リーグ戦式調査）とは、同輩関係にある2名にその2名の先輩にあたる人物1名を加えた3名1組内での電話による総当たりのロールプレイ会話の調査である。リーグ戦式調査のうち本稿で扱う場面1は、敬語の運用を把握することを目的に設定された場面である。場面設定を以下にあげる。

(1) 場面設定1-1（同輩同士の会話）

[A（電話のかけ手）への指示]

あなた（A）は来月行く、ゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打合せ会を欠席していたBさんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。Bさんが旅行にCさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。Bさんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

[B（電話の受け手）への指示]

Aさんから電話がかかります。Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Cさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

(2) 場面設定1-2（先輩・後輩の会話）

[A（電話のかけ手）への指示]

あなた（A）は来月行く、ゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打合せ会を欠席していたCさんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。Cさんが旅行にEさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。Cさんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

[C（電話の受け手）への指示]

Aさんから電話がかかります。Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Eさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

それぞれの場面において対者待遇・第三者待遇をみるため、場面1-1ではAとBの先輩にあたるCさんを、場面1-2では3者にとって上位者にあたる人物Eさん（先生）を第三者としてそれぞれ上位者に設定した。

2. 先行研究

方言の待遇表現研究にはこれまでに多くの蓄積がある。その中でも、待遇表現の運用に関しては、東日本で敬語が不活発なのに対して、西日本では敬語が活発に用いられていること（加藤 1973）、西日本において第三者待遇表現が活発に用いられていること（宮治 1987）、また近畿地方では敬卑・親愛表現が発達していること（岸江 1998、西尾 2005）などが示されている。しかし、これら運用面に関する研究ではアンケート調査や面接調査によるものが多く、実際の会話にみられた待遇表現運用を分析したものは篠原（2005）や辻（2009）以外は管見の限り見あたらない。

待遇表現などの言語運用の研究は内省・面接調査のみでは困難であり、談話資料を用いた研究が非常に重要となる。しかし、これまでの方言談話資料は地域差を明らかにするために必須となる登場人物の属性や場面を揃えることは難しく、そのため待遇表現の地域差を比較・対照した研究はこれまで行なわれてこなかった。本研究のロールプレイ談話では、それらの属性・場面を揃えることができ、談話における待遇表現の地域差を実証的に明らかにすることが可能となる。

本稿では以上のことをふまえたうえで、リーグ戦式調査の場面1の会話から、関西若年層男性ペア（kns_lm02）と首都圏若年層女性ペア（sht_lf04）の会話を取りあげ、談話構造および使用される敬語要素の特徴について述べる。

3. 談話構造と談話展開

リーグ戦式調査における談話構造を整理すると以下表1のようになる²⁾。

表1 リーグ戦式談話調査1の構造

		同輩同士(A-B)の会話		先輩後輩(A-C)の会話	
		A	B	A	C
開始部	相手確認	《名乗り》		《名乗り》 《あいさつ》 《状況確認》	《あいさつ》
展開部	事情説明	《事情確認》 《事情説明》	《理由説明》	《事情確認》 《事情説明》	《理由説明》
	用件のやりとり	《用件のきりだし》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》	《用件のきりだし》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
	依頼		《用件に対する依頼》		《用件に対する依頼》
終了部	別れの挨拶	《依頼に対する応答》		《依頼に対する応答》	
		《別れの挨拶》	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

リーグ戦式調査の場面1の会話では、表1に示したように、「相手確認」→「事情説明」

2) 以下、会話の参加者を「電話の掛け手・電話の受け手」の形で示す。また、表中の機能的要素は、左に掛け手のものを、右に受け手のものをそれぞれ示している。

→「用件のやりとり」→「依頼」→「別れの挨拶」の展開で会話が進められる。そして、同輩同士・先輩後輩の会話ともにほぼ同じ機能的要素が現れる。

一方、「相手確認」において、先輩のCに対する会話では《名乗り》に加えて《あいさつ》《状況確認》の発話がみられるが、同輩のB相手の会話では《名乗り》のみの会話となっている。以上のように、同輩同士と先輩後輩の会話では現れる機能的要素の違いが観察されるが、同じ機能的要素がみられてもそこにはいくつかの違いがみられる。以下、4 節で関西若年層男性ペアを、5 節で首都圏若年層女性ペアを取りあげて談話構造および談話展開についてみたのち、6 節でリーグ戦式調査の目的である敬語要素の現れ方に述べる。

4. 関西若年層男性ペアの分析

本節では、関西若年層男性ペアの会話例をもとに、リーグ戦式調査の場面1における会話についてみていく。4. 1. 節で同輩同士の会話について、4. 2. 節で先輩後輩の会話についてみていく。

4. 1. 同輩同士の会話

本節では、関西若年層男性ペアの会話のうち、同輩同士の会話を表2にあげる。表2では、具体的な会話例とともに談話構造・談話展開・機能的要素をそれぞれ示している。

表2 同輩同士の会話（関西若年層男性ペア：A-B）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	B
開始部	確相 認手	0001B: もしもしー↑。 0002A: もしもしー。 0003B: はいはいーい。		
主要部	事情 説明	0004A: あんなー、 0005B: うーん。 0006A: あーの、この前、ゼミ休んだったやんかー。 0007B: あー、ごめんなー。ちょっとなー、腹壊しとってん。 0008A: あ、そうなんや。 0009B: うーん。	《用件のきりだし1》 《事情確認》	《理由説明》
	用 件 の や り と り	0010A: うん。んでなー、来月ーのな、 0011B: ー／／ん。 0012A: ゼミーの旅行な、／／どうする。 0013B: うん。 0014A: 行く↑。 0015B: あ、ゼミの旅行↑。 0016A: うん。 0017B: ええっとなー、あ、それってさー、 0018A: ー／／うん。 0019B: C(姓)さん来はるん。 0020A: C(姓)さん来るよー。 0021B: あ、来はるんや。 0022A: うん。 0023B: あー、んじゃあ、んー、そうやなー、んじゃ行くわー。うん。 0024A: じゃあ、オッケー、わかった。	《用件のきりだし2》 《出欠の確認1》 《出欠の確認2》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問1》 《表明のための質問2》 《驚き》 《出欠の表明》
終了部	依頼	0025B: うん、それでよろしくー。		《用件に対する依頼》
	別れの 挨拶	0026A: ほーい、ほなねー。 0027B: はいーい。	《用件に対する応答》《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

同輩同士の会話では、電話の掛け手であるAは、会話冒頭の「呼びかけー応答」のあと、

なんの前置きをすることなく「あんなー」(0004A)と《用件の切り出し》を行なっている。そして、Aの用件に対する電話の受け手Bの《用件に対する依頼》「うん、それで、よろしく」(0019B)に対する応答ののち、そのまま《別れのあいさつ》を述べ、会話が終了している。以上のような会話のやりとりからは、談話展開に遠慮のなさや、話者間の心理的距離のなさが読み取れ、同輩同士の会話の典型であると考えられる。

4. 2. 先輩後輩の会話

次に、関西若年層男性ペアのうち先輩後輩による会話を表3に示す。

表3 先輩後輩の会話（関西若年層男性ペア：A-C）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	C
開始部	相手確認	0001C:もしもし。 0002A:あ、もしもしー、A(姓)です。こんにちは。 0003C:あー、こんにちは。どうしたん↑。 0004A:え、すいません。今、お時間、大丈夫ですか。 0005C:うん、いいよー。	《名乗り》《あいさつ》 《状況確認》	《あいさつ》
		0006A:はい。C(姓)さん、この前、あの、ゼミー、来てはらなかったですよー。 0007C:うーん。あ、ごめん、寝てたわ。 0008A:あ、ほんま／＼ですか。[笑] 0009C:うーん。 0010A:で、あの一、来月一の、あの、ゼミの旅行の、 僕、今、／＼幹事してるんですけど、 0011C:あーあーあー、ゆうてた／＼な。 0012A:んで、この前、あーの、出欠とったんですけど／＼どー、 0013C:ふんふん／＼ふん。	《事情確認》 《状況説明1》 《状況説明2》	
主要部	用件のやりとり	0014A:C(姓)さん、おりはらなかったんで、／＼どないしはるんかな。 0015C:あー、あ、そうかそうか。ごめんごめん。 それ、答え／＼ておかなあかんかったなー。 0016A:はい。 0017C:えっとー、えー、旅行か。えー、E先生って来んの↑。 0018A:あ、はい、E先生は来られ／＼まーす。 0019C:あー、来んの。意外や／＼な。 0020A:はい。 0021C:うん。な、わかった。じゃ、俺も行くわ。 0022A:あ、わかりまし／＼た。	《状況説明3》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
終了部	依頼	0023C:うん、じゃあ、あとはなんかまた連絡任せるわ。 0024A:あ、はい、 0025C:／＼はい、また、 0026A:また連絡しますー。	《依頼に対する応答1》 《依頼に対する応答2》	《用件に対する依頼》
		別れの挨拶 0027C:はい、ほな／＼ねー。 0028A:はい。はい、失礼しますー。	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

先輩後輩の会話では、会話冒頭部におけるAの《名のり》(0002A)《状況確認》(0004A)や、電話を掛けた理由に関する詳細な《状況説明》など(0010A、0012A、0014A)、同輩同士にはない機能的要素が現れ、会話が進められる。さらに、受け手が欠席していたことを伝える発話においても、同輩同士の会話ではそのまま欠席していたことを伝えているのに対して(「あの一この前ゼミ休んどったやんか」(0006A))、先輩へは否定疑問形で述べられている(「あっCさんこの前あのゼミー来てはらなかったですよー?」(0006A))。以上のように先輩後輩の会話ではさまざまな配慮がみられる。心理的距離のある話者同士によるやり取りが窺え、先輩後輩の関係にある話者間の典型的なやりとりであると思われる。

5. 首都圏若年層女性ペアの分析

本節では、首都圏若年層女性ペアの会話例についてみていく。5.1 節で同輩同士の会話について、5.2 節で先輩後輩の会話についてみていく。

5. 1. 同輩同士の会話

首都圏若年層女性ペアの会話例を、談話構造・談話展開・機能的要素とともにまとめて表4に示す。

表4 同輩同士の会話（首都圏若年層女性ペア：A-B）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	B
開始部	確相認手	0001B:もしもしー↑。 0002A:あ、もしもし、B(名)↑。 0003B:うん。 0004A:A(名)。 0005B:うん。	《名乗り》	
主要部	事情説明	0006A:あのさーあ、 0007B:うん。 0008A:来月にさーあ、あの、やらい、野外活動あるじゃん。 0009B:うん。 0010A:で、今日、その一、打ち合わせ会やったんだけどー、 0011B:うん。 0012A:今日、B(名)、いなかったじゃん↑。 0013B:あーあーあー。	《用件のきりだし》 《事情確認》 《状況説明1》 《状況説明2》	
	用件のやりとり	0014A:だからさー、その、りよこ、あー、 野外活動に来るかどうか、確認したいんだけどー。 0015B:うん。え、ねー、それってさー／あ、 0016A:うん。 0017B:C(名)さん、来る↑。 0018A:うん。／／いらっしゃるよ。 0019B:あー、じゃあ、行く。 0020A:はい。じゃあ、参加で。	《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
	依頼	0021B:うん。／／お願いします。 0022A:じゃあ、伝えときまーす。はい。 0023B:はい。	《依頼に対する応答》	《用件に対する依頼》
終了部	別れの挨拶	0024A:じゃあねー。 0025B:バイバイ。	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

首都圏若年層女性ペアの同輩同士による会話では、関西若年層男性ペアの同輩同士の会話例と同様に、会話冒頭部ですぐに《用件のきりだし》が行なわれている。電話の掛け手による《名乗り》が行なわれているが（「A(名)」(0004A)）自身の名を言うのみである。また、《状況確認》など先輩後輩の会話でみられる配慮のあると思われるやりとりは行なわれていない。

関西若年層男性ペアの会話に比べて《名乗り》がある点、《依頼に対する応答》で「伝えときまーす」(0022A)などのように受け手であるBの依頼（「うん。お願いします。(0021B)」）に対する具体的な発話がある点、丁寧なやりとりであると言える。しかし、5. 2. 節でみる先輩後輩の会話と比べると、機能的要素の現れ方には違いがみられ、気の置けない者同士による会話であることが窺える。

5. 2. 先輩後輩の会話

次に、首都圏若年層女性ペアの会話例のうち、先輩後輩による会話を取りあげる。具体的な会話例は以下の表5に示したとおりである。

表5 先輩後輩の会話（首都圏若年層女性ペア：A-C）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	C
開始部	確相認手	0001C: もしもし。 0002A: あ、もしもし、こんにちはー。 0003C: あ、／／はい、こんにちはー。 0004A: あ、児教1年のA(名)です。 0005C: はい。どしたの。	《あいさつ》 《名乗り》	《あいさつ》
		0006A: あの一、来月にー、 0007C: ／／うん。 0008A: あ、野外活動、あるじゃないですかー。 0009C: うん、あるね。	《状況説明1》 《状況説明2》	
主要部	用件のやりとり	0010A: でー、それってー、あ、C(名)さん、こないだ欠席されていたので、 出欠を確認できていないんですがー、 0011C: うん。 0012A: C(名)さん、来られますか↑。 0013C: あー、E先生って来るのー。 0014A: あ、E先生、いらっしゃいます。 0015C: あー、そっかー。 0016A: ／／はい。 0017C: うん、じゃあ、行こうかなー。 0018A: ／／あ、 0019C: じゃ、うん、 0020A: ／／はい。	《状況説明3》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
		0021C: 出席をお願いします。 0022A: わかりましたー。 0023C: ／／はい。 0024A: じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。 0025C: うん、お願いします。	《依頼に対する応答1》 《依頼に対する応答2》	《用件に対する依頼1》
終了部	別れの挨拶	0026A: はい、すいませんでした。[笑] 0027C: [笑]はい。 0028A: 失礼します。	《別れの挨拶》	《用件に対する依頼2》

先輩後輩による会話では、まず開始部で、後輩からの《あいさつ》があり、《名乗り》が行なわれる。また、同輩同士の会話では「野外活動に来るかどう、確認したいんだけどー。」(0014A)という発話で《出欠の確認》をしている一方、先輩に対しては来るかどうかを丁寧に尋ねている(「C(名)さん、来られますか↑。」(0012A))。これらのほか、《依頼に対する応答》では、了解を示す発話に加えて(「わかりましたー。」(0022A))、今後どうするかについての発話がある点や(「じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。」(0024A))、敬語要素などの具体的な言語形式をみると、同輩同士とは異なり、配慮のみられる会話であると考えられる。

5. 3. 談話展開と機能的要素のまとめ

ここまでは、リーグ戦式調査の場面1に関する会話例のうち典型的なものをとりあげ、談話構造・談話展開・機能的要素の現れ方についてみてきた。談話展開・機能的要素の現れ方についてまとめると、以下のようになる。

- (a) 談話展開は、同輩同士の会話でも先輩後輩の会話でも違いはなく、「相手確認」→「事情説明」→「用件のやりとり」→「依頼」→「別れの挨拶」の順に行なわれる。

- (b) 機能的要素の現れ方は、談話展開とは異なり、同輩同士の会話と先輩後輩の会話とでは違いがみられる。すなわち、先輩後輩の会話では、《あいさつ》や《名乗り》、詳細な《状況説明》など、配慮の表れとみられる機能的要素のやりとりがみられる一方、同輩同士の会話では、これらの機能的要素はほとんど現れない。
- (c) 同じ機能的要素がみられる場合でも、先輩後輩の会話では、否定疑問文で質問するなど敬語形式の使用以外にも、明確な配慮のある表現が用いられている。

6. 敬語要素の現れ方

4 節および 5 節では、関西若年層男性ペアと首都圏若年層女性ペアの会話を例に、機能的要素の現れ方や用いられる表現の違いについて典型的と思われるものについて確認した。本節では、リーグ戦式調査の目的である敬語要素の現れ方についてみていく。6. 1. 節で尊敬語の運用について、6. 2. 節で丁寧語の使用・不使用について述べる。

6. 1. 尊敬語の運用

本節では、尊敬語の運用について触れておく。

リーグ戦式調査の場面 1 は、電話の掛け手が電話の受け手に旅行に行くかどうかを尋ねる場面である。それぞれの会話では「電話の受け手が旅行の打ち合わせ会議に欠席していたため連絡をした」というように電話を掛けた理由を述べる発話が共通してみられる。対者待遇については「欠席していた」にあたる発話に尊敬語が使用されていたかどうかについてみる。

一方、第三者待遇では、電話の掛け手に旅行への参加を尋ねられた受け手が、上位者として設定した人物（E）が旅行に来るかどうかを尋ねるという場面を設定している。第三者待遇では、電話の受け手が「上位者は来るか」を尋ねる発話に尊敬語が使用されるか否についてみる。

まず、対者待遇について述べる。本稿で取り上げた会話例から該当する発話は (3) から (6) のようであった。

(3) 0006A : あ一の、この前、ゼミ休んどったやんかー。 【kns_lm02 : A→B】

(4) 0006A : はい。C（姓）さん、この前、あの、ゼミー、来てはらなかったですよ
ね。 【kns_lm02 : A→C】

(5) 0012A : 今日、B（名）、いなかったじゃん↑。 【sht_lf04 : A→B】

(6) 0010A : で一、それって一、あの、C（名）さん、こないだ欠席されていたので、
出欠を確認できていないんですが一、 【sht_lf04 : A→C】

発話例 (3) から (6) をみてわかるように、尊敬語は同輩同士の会話では使用されないが、

先輩後輩の会話では、後輩から先輩に対して尊敬語の使用がみられる³⁾。

つぎに、第三者待遇における尊敬語の使用をみる。具体的な発話例を、以下(7)から(10)にあげる。

(7) 0019B : C (姓) さん来はるん。 【kns_lm02 : B→C】

(8) 0017C : えっとー、えー、旅行か。えー、E先生って来んの↑。
【kns_lm02 : C→E】

(9) 0017B : C (名) さん、来る↑。 【sht_lf04 : B→C】

(10) 0013C : あー、E先生って来るの↑。 【sht_lf04 : C→E】

第三者待遇では、対者待遇と同様に設定した上位者に対して必ずしも尊敬語が使用されるわけではない。本稿で取り上げた会話例の中では、関西若年層男性の同輩同士の会話においてのみ尊敬語の使用がみられた。尊敬語形式は方言形のハルが用いられている。

6. 2. 丁寧語の使用・不使用

次に本節では、丁寧語の使用について触れる。丁寧語の使用についてみると、同輩同士の会話では基本的に用いられない。一方、先輩後輩の会話では後輩から先輩に対しては用いられるが先輩から後輩に対しては用いられない。

(11) 0006A : あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。

0007B : あー、ごめんなー。ちょっとなー、腹壊しとってん。

【kns_lm02 : A→B】

(12) 0019B : あー、じゃあ、行く。

0020A : はい。じゃあ、参加で。 【sht_lf04 : A→B】

一方、同輩同士の会話、先輩後輩の会話における先輩から後輩への丁寧語の使用は、(13)のような慣習的と思われる使用および、(14) (15) のようなある立場に則ったときに使用がみられるのみである⁴⁾。

(13) 0021B : うん。／／お願いします。 【sht_lf04 : A→B】

(14) 0022A : じゃあ、伝えときまーす。はい。 【sht_lf04 : A→B】

(15) 0021C : 出席でお願いします。 【sht_lf04 : A→C】

6. 3. 敬語要素のまとめ

以上、本節では、敬語要素の現れ方について、取り上げた会話例をもとに尊敬語の運用(6. 1. 節)と丁寧語の使用・不使用(6. 2. 節)についてみた。本稿では取り上げていないが、本プロジェクトで収集・分析を行なっている他地点の結果を合わせて、敬語要素

3) 以下、発話の用例では、会話IDと話し手・待遇対象を末尾に【会話ID : 話し手→待遇対象】の形で示す。

4) リーグ戦式調査の結果における丁寧語使用の詳細については酒井(2013b)を参照されたい。

の現れ方についてまとめると以下のことが明らかとなっている⁵⁾。

- (d) それぞれの場面において設定された上位者に対して尊敬語を用いるか否かといった尊敬語運用のあり方には、地域差がみられる。
- (e) 尊敬語を使用する場合でも、用いられる形式が標準語形式を用いる地域と方言形式を主に用いる地域とに大きく分かれる。また、どちらの形式を使用するかは尊敬語運用のあり方との関係がみられる。
- (f) 丁寧語の使用については、目立った地域差はみられない。

7. まとめ

以上、本稿では、リーグ戦式調査の場面1について典型的な例をとりあげ、談話構造・談話展開・機能的要素の現れ方を確認したのち、敬語要素の表れについて述べた。本稿で述べたように、日本語方言の待遇表現について談話データに基づく運用のあり方をもとに述べたものは少ない。本稿で示した分析例のように、敬語運用のあり方だけではなく、談話展開や機能的要素の現れ方との関連など、今後談話データを用いた研究が進められていくべきであろう。

参考文献

- 加藤正信(1973)「全国方言の敬語概観」林四郎・南不二男(編)『敬語講座6 現代の敬語』pp.25-83, 明治書院
- 岸江信介(1998)「京阪方言における親愛表現構造の枠組み」『日本語科学』3, pp.23-46, 国立国語研究所
- 酒井雅史(2013a)「ロールプレイ会話からみる敬語運用の地域差」『国立国語研究所時空間変異系合同研究発表会予稿集』, pp161-168, 国立国語研究所時空間変異系
- (2013b)「ロールプレイ会話における丁寧語使用と談話展開」国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言談話の地域差と世代差に関する研究」公開研究発表会発表資料、於関西大学
- (2014)「若年層の敬語運用の類型化の試みーロールプレイ会話データを用いてー」『国立国語研究所時空間変異系合同研究発表会予稿集』, pp85-94, 国立国語研究所時空間変異系
- 篠原玲子(2005)「尊敬語運用の意識と実態ー姫路市方言のテ敬語使用者を事例としてー」『第80回 日本方言研究会研究発表会発表原稿集』pp.49-56, 日本方言研究会
- 辻加代子(2009)『「ハル」敬語考ー京都語の社会言語史』ひつじ書房

5) 尊敬語の運用および、尊敬語の運用と丁寧語の使用を合わせた地域差についての詳細は、酒井(2013a ; 2014)を参照いただきたい。

- 西尾純二(2005)「大阪府を中心とした関西若年層における卑語形式「ヨル」の表現性—関係性待遇と感情性待遇の観点からの分析—」『社会言語科学』7-2, pp.50-65, 社会言語科学学会
- 宮治弘明(1987)「近畿方言における待遇表現運用上の一特質」『国語学』151, pp.38-56, 日本語学会

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面1「確認談話」

(1) 関西若年層男性ペア（同輩同士）

【開始部】

相手確認	0001B：もしもしー↑。	B：注目要求
	0002A：もしもしー。	A：注目要求
	0003B：はいはいー。	B：注目表示

【主要部】

事情説明	0004A：あんなー、	A：(未完)
	0005B：うーん。	B：注目表示
	0006A：あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。	A：情報要求
	0007-1B：あー、	B：注目表示
	0007-2B：ごめんなー。	B：関係づくり，儀礼
	0007-3B：ちょっとなー、腹壊しとってん。	B：陳述・表出
	0008A：あ、そうなんや。	A：注目表示
	0009B：うーん。	B：注目表示
用件のやりとり	0010-1A：うん。	A：注目表示
	0010-2A：んでなー、来月ーのな、	A：情報要求（1/2）
	0011B：／／ん。	B：注目表示
	0012A：ゼミーの旅行な、／／どうする。	A：情報要求（2/2）
	0013B：うん。	B：注目表示
	0014A：行く↑。	A：情報要求
	0015-1B：あ、	B：注目表示
	0015-2B：ゼミーの旅行↑。	B：情報要求
	0016A：うん。	A：陳述・表出
	0017-1B：ええっとなー、	B：注目要求
	0017-2B：あ、それってさー、	B：情報要求（1/2）
	0018A：／／うん。	A：注目表示
	0019B：C（姓）さん来はるん。	B：情報要求（2/2）
	0020A：C（姓）さん来るよー。	A：陳述・表出
	0021B：あ、来はるんや。	B：注目表示
	0022A：うん。	A：注目表示
	0023B-1：あー、んじゃあ、んー、	B：注目表示
	0023B-2：そうやなー、んじゃ行くわー。	B：陳述・表出
	0023B-3：うん。	B：注目表示
	0024A：じゃあ、オッケー、わかった。	A：注目表示，陳述・表出

【終了部】

依頼	0025-1B：うん、	B：注目表示
	0025-2B：それではうー。	B：関係づくり，儀礼
別れの挨拶	0026-1A：ほーい、ほなねー。	A：注目表示
	0026-2A：ほなねー。	A：関係づくり，儀礼
	0027B：はい。	B：注目表示

(2) 関西若年層男性ペア（先輩後輩）

【開始部】

相手確認	0001C：もしもし。	C：注目要求
	0002-1A：あ、	A：注目表示
	0002-2A：もしもしー、	A：注目要求
	0002-3A：A（姓）です。	A：陳述・表出
	0002-4A：こんにちは。	A：関係づくり，儀礼
	0003-1C：あー、	C：注目表示
	0003-2C：こんにちは。	C：関係づくり，儀礼
	0003-3C：どうしたん↑。	C：情報要求
	0004-1A：え、	A：注目表示
	0004-2A：すいません。	A：関係づくり，儀礼
	0004-3A：今、お時間、大丈夫ですか。	A：情報要求
	0005C：うん、いいよー。	C：陳述・表出

【主要部】

事情説明	0006-1A：はい。	A：注目表示
	0006-2A：C（姓）さん、この前、あの、ゼミー、来てはらなかったですね。	A：情報要求
	0007-1C：うーん。	C：注目表示
	0007-2C：あ、	C：注目表示
	0007-3C：ごめん、	C：関係づくり，儀礼
	0007-4C：寝てたわ。	C：陳述・表出
	0008A：あ、ほんま／＼ですか。{笑}	A：注目表示
	0009C：うーん。	C：注目表示
	0010A：で、あの一、来月一の、あの、ゼミの旅行の、僕、今、／＼幹事してるんですけど、	A：陳述・表出
	0011-1C：あーあーあー、	C：注目表示
	0011-2C：ゆうてた／＼な。	C：陳述・表出
	0012A：んで、この前、あ一の、出欠とったんですけ／＼どー、	A：陳述・表出
	0013C：ふんふん／＼ふん。	C：注目表示

用 件 の や り と り	0014A : C (姓) さん、おりはらなかったんで、／／どないしはるんかな。	A : 情報要求
	0015-1C : あー、あ、そうかそうか。	C : 注目表示
	0015-2C : ごめんごめん。	C : 関係づくり, 儀礼
	0015-3C : それ、答え／／ておかなあかんかったなー。	C : 陳述・表出
	0016A : はい。	A : 注目表示
	0017C : えっとー、えー、旅行か。	C : 注目表示
	0017C : えー、E先生って来んの↑。	C : 情報要求
	0018-1A : あ、はい、	A : 注目表示
	0018-2A : E先生は来られ／／まーす。	A : 陳述・表出
	0019-1C : あー、来んの。	C : 注目表示
	0019-2C : 意外や／／な。	C : 陳述・表出
	0020A : はい。	A : 注目表示
	0021-1C : うん。	C : 注目表示
	0021-2C : な、わかった。	C : 陳述・表出
	0021-3C : じゃ、俺も行くわ。	C : 陳述・表出
	0022-1A : あ、	A : 注目表示
	0022-2A : わかりまし／／た。	A : 陳述・表出

【終了部】

依 頼	0023C : うん、	C : 注目表示
	0023C : じゃあ、あとはなんかまた連絡任せるわ。	C : 陳述・表出
	0024A : あ、はい、	A : 注目表示
	0025C : ／／はい、	C : 注目表示
	0025C : また、	C : 関係づくり, 儀礼
	0026A : また連絡しますー。	A : 陳述・表出
別 れ の 挨拶	0027-1C : はい、	C : 注目表示
	0027-2C : ほな／／ねー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0028-1A : はい。	A : 注目表示
	0028-2A : はい、失礼しまーす。	A : 関係づくり, 儀礼

(3) 首都圏若年層女性ペア (同輩同士)

【開始部】

相 手 確 認	0001B : もしもしー↑。	B : 注目要求
	0002-1A : あ、	A : 注目表示
	0002-2A : もしもし、	A : 注目要求
	0002-3A : B (名) ↑。	A : 情報要求
	0003B : うん。	B : 陳述・表出

	0004A : A (名)。	A : 陳述・表出
	0005B : うん。	B : 注目表示

【主要部】

事情説明	0006A : あのさーあ、	A : 注目要求
	0007B : うん。	B : 注目表示
	0008A : 来月にさーあ、あの、やらい、野外活動あるじゃん。	A : 陳述・表出
	0009B : うん。	B : 注目表示
	0010A : で、今日、それの一、打ち合わせ会やったんだけどー、	A : 陳述・表出
	0011B : うん。	B : 注目表示
	0012A : 今日、B (名)、いなかったじゃん↑。	A : 情報要求
	0013B : あーあーあー。	B : 注目表示
用件のやりとり	0014A : だからさー、その、りょこ、あー、野外活動に来るかどうか、確認したいんだけどー。	A : 陳述・表出
	0015-1B : うん。	B : 注目表示
	0015-2B : え、ねー、それってさー／／あ、	B : 情報要求 (1/2)
	0016A : うん。	A : 注目表示
	0017B : C (名) さん、来る↑。	B : 情報要求 (2/2)
	0018A : うん。／／いらっしゃるよ。	A : 陳述・表出
	0019-1B : あー、	B : 注目表示
	0019-2B : じゃあ、行く。	B : 陳述・表出
	0020A : はい。じゃあ、参加で。	A : 注目表示, 陳述・表出
依頼	0021-1B : うん。	B : 注目表示
	0021-2B : ／／お願いします。	B : 関係づくり, 儀礼

【終了部】

依頼	0022-1A : じゃあ、伝えときまーす。	A : 陳述・表出
	0022-2A : はいーい。	A : 注目表示
	0023B : はい。	B : 注目表示
挨拶 別れの	0024A : じゃあねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0025B : バイバイ。	B : 関係づくり, 儀礼

(4) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩)

【開始部】

相手確認	0001C : もしもーし。	C : 注目要求
	0002-1A : あ、	A : 注目表示
	0002-2A : もしもし、	A : 注目要求
	0002-3A : こんにちはー。	A : 関係づくり, 儀礼

	0003-1C : あ、	C : 注目表示
	0003-2C : //はい、こんにちは。	C : 関係づくり, 儀礼
	0004A : あの、見教1年のA (名) です。	A : 陳述・表出
	0005C : はい。どしたの。	C : 注目表示、情報要求

【主要部】

事情説明	0006-1A : あのー、	A : 注目要求
	0006-2A : 来月にー、	A : 情報要求 (1/2)
	0007C : //うん。	C : 注目表示
	0008A : あの、野外活動、あるじゃないですかー。	A : 情報要求 (2/2)
	0009C : うん、あるね。	C : 注目表示, 陳述・表出
用件のやりとり	0010A : でー、それってー、あの、C (名) さん、こないだ欠席されていたので、出欠を確認できていないんですがー、	A : 陳述・表出
	0011C : うん。	C : 注目表示
	0012A : C (名) さん、来られますか↑。	A : 情報要求
	0013C : あー、E先生って来るのー。	C : 注目表示, 情報要求
	0014-1A : あ、	A : 注目表示
	0014-2A : E先生、いらっしゃいます。	A : 陳述・表出
	0015C : あー、そっかー。	C : 注目表示
	0016A : //はい。	A : 注目表示
	0017-1C : うん、。	C : 注目表示
	0017-2C : じゃあ、行こうかなー。	C : 陳述・表出
	0018A : //あ、	A : 注目表示
	0019C : じゃ、うん、	C : 注目表示
	0020A : //はい。	A : 注目表示
依頼	0021C : 出席でお願いします。	C : 行為要求
	0022A : わかりましたー。	A : 陳述・表出
	0023C : //はい。	C : 注目表示

【終了部】

依頼	0024A : じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。	A : 陳述・表出
	0025C : うん、	C : 注目表示
	0025C : お願いします。	C : 関係づくり, 儀礼
別れの挨拶	0026-1A : はい、	A : 注目表示
	0026-2A : すいませんでした。	A : 関係づくり, 儀礼
	0026-3A : {笑}	A : 注目表示
	0027-1C : {笑}	C : 注目表示
	0027-2C : はい。	C : 注目表示
	0028A : 失礼しまーす。	A : 関係づくり, 儀礼

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面２・３「申し出談話」

森 勇太
(関西大学)

1. 場面設定

本稿では、リーグ戦式ロールプレイの場面２・場面３で取り上げた申し出の談話の分析を行う。場面設定を以下に挙げる。

(1) 場面２：若年層

a 電話の掛け手

乙さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

b 電話の受け手

あなたは今ゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

(2) 場面２：高年層

a 電話の掛け手

乙さんが自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

b 電話の受け手

あなたは今自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

(3) 場面３：（若年層・高年層共通）

a 電話の掛け手

あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

b 電話の受け手

甲さんから電話がかかってきます。甲さんはある本を探していて、あなたがその本

を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持って行くことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

調査の当初は場面3を設定したが、より典型的な申し出の談話を収録すべく、調査の途中から場面2に切り替えて調査を行っている。これについては4節で詳しく述べる。

本稿の構成は以下の通りである。2節では申し出表現を扱った先行研究について触れる。3節では、首都圏若年層女性ペアを例に、リーグ戦式ロールプレイ場面2の談話の構造について述べる。4節では、同ロールプレイ場面3の構造について述べる。なお本稿末尾には、分析の対象とする首都圏女性ペアの場面2・場面3談話を、行為的機能・機能的要素を付与して挙げた。

2. 先行研究

申し出表現は聞き手に対して利益のある行為を行うことを話し手が行うことを述べるものである(坂本・蒲谷 1995)。申し出表現について、特に述部でどのような形式が用いられるかについては、尾崎(2008)や『方言文法全国地図』の調査があり、尾崎(2008)や沖(2009)では、一定の地域差が示されている。

ただし、申し出がどのような談話構成のもとで遂行されるか、という点について調査を行った研究は、管見の限り見られない。本稿では、申し出談話の構造の地域差を研究する前段階として、本プロジェクトで得た首都圏の若年層女性ペア(sht_lf04)の談話を取り上げ、その談話の構造、および使用されている形式・表現の特徴について述べたい。

3. 首都圏女性ペアの場面2談話の分析

3. 1. 申し出談話の構造

本節では首都圏の若年層女性ペア(sht_lf04)の場面2の申し出談話を取り上げる。3. 1. 節では全体的な構造について、3. 2. 節では設定した機能的要素について、3. 3. 節ではこの談話に見られる説得のストラテジーについて、3. 4. 節では申し出表現における授受表現の使用について述べる。

まず、申し出談話の構造について、当該のペアでは次ページ表1の通り談話が展開された。

場面2では、まず、事情説明を行った後、手伝いの申し出が行われる。一旦断られるものの、話し手がさらに説得するという構成になっている。説得は聞き手が受諾するまで、繰り返し行われる。基本的にこの談話は、掛け手がそのまま主導権を持つものである。

表 1 申し出談話（場面 2）の構造

		同級生	先輩—後輩
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0003 相手確認
主 要 部	申し出 ／断り	0004-0012 事情説明・申し出／断り	0004-0010 事情説明・申し出／断り
		0013-0019 説得／断り①	0011-0024 説得／断り
		0020-0032 説得／断り②	
	申し出 ／受諾	0033-0042 約束 0044-0048 申し出の受諾	0025-0034 申し出の受諾
終結部		0049-0051 別れの挨拶	0049-0051 別れの挨拶

3. 2. 申し出の機能的要素

首都圏女性ペアの申し出談話のうち、実際に申し出を行っている部分を取り出すと(4)・(5)のようになる（便宜上申し出を行う側の発話のみを抜き出し、つなげて示す）。

- (4) なんかさー、今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、Zさんがー、なんか、B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、わたし、暇だからー、なんか、ま、行こっかなーって思ったんだけど、どーお。（sht_lf04ab-2：0004-0012）
- (5) あの一、が、今度、学祭あるじゃないですかー。なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、もし、わたしー、暇なんでー、あの、なんでも手伝うんで、なんか手伝うことありますか。（sht_lf04ac-2：0004-0010）

これらについて、現時点での便宜的なものではあるが、申し出を遂行するための便宜的な要素として、(6)の“機能的要素”（熊谷・篠崎 2006）を設定した。

申し出を最も直接的に行うのは《話し手の意向の表明》や《聞き手の意向の確認》と考えられるが、その準備としての《注目喚起》《申し出の経緯》、および効果的補強として機能する《不都合》《話し手の事情の説明》《話し手の利益の表明》などが設定可能である。

- (6) a 《注目喚起》「なんかさー」「いや」「ほら」
b 《申し出の経緯》「今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、Zさんがー、」「A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、」「今度、学祭あるじゃないですかー。なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、」

- c 《不都合》「B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、」
- d 《話し手の事情の説明》「わたし、暇だからー、」「なんでも手伝うんで、」
- e 《話し手の意向の表明》「行こっかなーって思ったんだけど、」
- f 《聞き手の意向の確認》「どーお。」
- g 《事象情報要求》「なんか手伝うことありますか。」

3. 3. 説得のストラテジー

また、この談話には副次的に説得の言語行為が含まれる。説得については、ペア場面4（誘い）の談話にも見られるが、ペア場面4の勧誘はいったん断られた宴会・旅行等に聞き手を引き込むものであり、聞き手の利益は考慮に入られていない発話行為である。それに対して、この場面の申し出の発話行為は基本的には聞き手に利益をもたらすものであり、両者の説得のあり方は少しずつ異なることが予想される。場面2の説得の要素としては、以下の表現が見られた（本節では他の地点で見られたストラテジーも加えて述べる）。

- (7) a 話し手に余裕があることを伝える。〔《話し手の事情の説明》と共通〕

「やることがないの。最近、赤坂、暇だから、」（sht_lf04ab-2：0022-0024）

- b 話し手側の実行の必然性があるように述べる。

「や、でも、来年は、わたしたちー／／が、ま、幹事の学年なるんで、／／ちと、
 なんか、お手伝いだけでもやらしてもらったほうが、いっかなーとかも思うんです
 けど、どですかね。（hrs_lf01ac-2：0041-0045）

- c 話し手にとって不都合であることを伝える。

「あの一、それはね、申し訳ないので、や、ちょっと、な、なんかやりますよ。」
 （aic_lf02cb-2）

- d 話し手の利益になることを伝える。

「新宿のお手伝いして、忙しいの久しぶりに体験したいなーと思って。」
 （sht_lf04ab-2：0026）

「いや、もったいないじゃん。ほら、お金稼ぎたいし。新宿店、」（sht_lf04ab-2：0028）

- e 聞き手にとっての負担を述べる。

「結構、量、多かったですよね。で、今日、わたし、なんもないのでー、」（aic_lf02bc-2：0020）

- f 聞き手の力不足を伝える。

「でも、分からない事とか、結構〔ケッコ〕一杯あるんじゃない↑。あんまりーさ、
まだ、1年生、／／あー、準備とか、したことないやろーけん、」（hrs_lf01cb-2：0028-0030）

- g 集団の利益になることを伝える。

「そうですか。でも、まあ、なんか、多いほうが、早く終わるかなーとも思うのでー、
／／少しでも、」 (aic_lf02ac-2 : 0016)

説得のストラテジーとしては、《話し手の事情の説明》や話し手の利益、また話し手が当該の動作を行うことの必然性について述べるもの、あるいは聞き手の利益や負担に言及するものなどが見られた。ひとつの談話に複数の要素が見られることもあり、これらを組み合わせて、先行する申し出に対する効果的な補強として機能していると考えられる。

3. 4. 申し出表現における授受表現の使用

先行研究では申し出表現の中で、授受表現の使用に地域差があることが指摘されている。リーグ戦式ロールプレイ談話場面2（全地点）を確認すると、これらの授受表現の使用は「～させていたきたい」が2例、「～させてください」が1例、「～てやる」が2例見られた。

(8) a でー、それを聞いたのでー、お手伝いをさしていたきたいと思ったんですけどー。

(sht_lf05ac-2 : 0012)

b いや、やらせてください。 (sht_lf05ac-2 : 0016)

c あの一、ちょっと、お手伝いさせていたきたいなーと思ひましてー。

(aic_lm01bc-2 : 0016)

d なんか手伝ってやれんかな／／と思って、電話したんだけど。 (hrs_lm02ca-2 : 0010)

e で、いろいろ、やり方わかるけん、なんか手伝ってやろうと思って電話したんやけど。 (hrs_lm02cb-2 : 0018)

語彙の意味としては聞き手に利益を与えるもののため、「～てやる」「～てあげる」「～てさしあげる」等が使用されてもよいところではあるが、使用されている例は少ない。少ないながらも、その使用を見ると、「～させていただく」「～させてください」という受益の表現は後輩の話し手から先輩の聞き手へ、「～てやる」という授益の表現は先輩の話し手から後輩の聞き手へ、それぞれ使用されている。日高（2007 : 13-14）は授受動詞の表す立場上の上下関係があり、敬語的には中立の場合であっても、恩恵の与え手が上位、恩恵の受け手が下位として認識されると述べるが、非敬語の授益の表現「～てやる」が先輩から後輩への利益があるときに用いられるというのは、そのような授受動詞の表す立場の上下関係と合致している。ただし、「～てやる」を用いている2例も、ともに「～と思って」に接続して心内発話の形式をとっており、「～てやろう」のように意志表現として用いられているわけではない。このことから、聞き手への利益を明示して申し出を行うということは、現代では起こりにくいと言える。

4. 場面3 談話の分析

本節では、場面3の談話について述べる。表2に談話の構造を示す。

表2 申し出談話（場面3）の構造

		同級生ペア	後輩から先輩
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0003 相手確認
主 要 部	依頼	0004-0011 Bによる本所有の確認	0006-0019 Cによる本所有の確認
		0012-0024 本借りの依頼／受諾	0020-0028 本借りの依頼／受諾
	申し出	0025-0028 申し出／受諾	0029-0032 申し出／受諾
		0029-0039 予定確認	0033-0038 予定確認
終結部		0040-0043 別れの挨拶	0039-0040 別れの挨拶

主要部の前半は、電話の掛け手が事情説明をして、受け手はそれに対してあいづちをしたり、聞かれた情報について答えたりする、という関係であり、掛け手が主導して会話を展開しているといえる。ところが、主要部の後半では、受け手が掛け手の場所を尋ねたり、持って行くという新たな提案をするのに対し、掛け手はそれに対し、聞かれた情報について答えたり、聞き手の申し出に感謝をするという関係にある。後半部は電話の受け手が主導して展開しているといえ、この点で主導権の交替が見られる会話だといえる。

場面3の機能的要素としては、場面2で見られたものと共通のものが設定できる。その他、首都圏女性ペアの談話ではないが、依頼を承けて、すぐに予定確認を行うものがあり、このような談話は予定確認が申し出の準備として機能しているといえる。たとえば(9)の談話ではAは0013にて依頼を承諾した後、その発話でCの予定を確認し、0017で行う申し出の準備としている。

(9) 0009A：あ、今、持ってまーす。

0010C：あ、ほんまに↑。

0011A：はい。

0012C：ちょっと、貸してもらえないですか／／ねー。

0013A：あ、わかりました。今、今、どこにいてはりますか。《聞き手の予定確認》

0014C：あ、今一、えっと、凜風んどこにいてるんで一、

0015A：はい。

0016C：ちょっと、そこ一、

0017A：／／あ、持っていきます。《話し手の意向の表明》

0018C：待ち合わせでもいいですか。

0019A：はい。

0020C：あ、ありがとうございます。じゃあ、お待ちしてます。（kns_lf05ca-3）

このように、場面3の申し出は依頼を承けており、依頼の承諾という側面を持つ。このことから申し出の発話行為としては、場面2のほうがより典型的であると思われる。

5. まとめ

本稿では、首都圏若年層女性ペアの申し出談話を分析し、特に場面2について、以下のことを述べた。

1. 申し出表現の核となるのは《話し手の意向の表明》や《聞き手の意向の確認》である。ただし、それ単独で申し出が行われるのではなく、その準備としての《注目喚起》《申し出の経緯》、および効果的補強としての《不都合》《話し手の事情の説明》《話し手の利益の表明》といった要素が組み合わさって、申し出を遂行している。[3. 2. 節]
2. 申し出の際の説得のストラテジーとしては、《話し手の事情の説明》や話し手の利益、また話し手が当該の動作を行うことの必然性について述べるもの、あるいは聞き手の利益や負担に言及するものなどが見られた。ひとつの談話に複数の要素が見られることもあり、これらを組み合わせて、先行する申し出に対する効果的な補強として機能している。[3. 3. 節]
3. 申し出の際の授受表現の使用について、「～させていただく」「～させてください」という受益の表現は後輩の話し手から先輩の聞き手へ、「～てやる」という授益の表現は先輩の話し手から後輩の聞き手へ、それぞれ使用されている。非敬語の授益の表現「～てやる」が先輩から後輩への申し出の際に用いられるというのは、授受動詞の表す立場の上下関係と合致している。[3. 4. 節]

ひとくちに申し出といっても、場面2・3に差異があるように、主導権の取り方や談話の構成が異なることもありうる。今後の研究においては、どのような条件が申し出の談話構成に影響を与えるかという点についても詳しく考えていく必要がある。

参考文献

- 沖裕子(2009)「発想と表現の地域差」『月刊 言語』38(4), 16-23, 大修館書店.
- 尾崎喜光(2008)「援助申し出場面における授恵表現「～てやる/～てあげる/てさしあげる」の使用」早稲田大学待遇コミュニケーション研究会(編)『待遇コミュニケーション研究』5, 83-94, 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会.
- 熊谷智子・篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」『言語行動における配慮の諸相』第3章, 国立国語研究所報告 123, 19-54, くろしお出版.
- 坂本恵・蒲谷宏(1995)「「申し出」表現について」『国語学 研究と資料』19, 25-35, 早稲田大学国語学研究と資料の会.

日高水穂(2007)『授受動詞の対照方言学的研究』ひつじ書房.

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面２・３「申し出談話」

(１) 首都圏若年層女性ペア（同輩同士）（場面２）

【開始部】

相手確認	0001B：もしもし。	B：注目要求
	0002-1A：もしもし、	A：注目要求
	0002-2A：／／B（あだ名）。	A：情報要求
	0003B：うん。うん。	B：陳述・表出

【主要部】

事情説明・申し出／断り	0004A：なんかさー、今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、	A：陳述・表出
	0005B：{笑}	B：注目表示
	0006A：Zさんがー、	A：陳述・表出(1/4)
	0007B：／／うん。	B：注目表示
	0008A：なんか、B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、	A：陳述・表出(2/4)
	0009B：／／うん。	B：注目表示
	0010A：A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、	A：陳述・表出(3/4)
	0011B：うん。	B：注目表示
	0012-1A：わたし、暇だからー、なんか、ま、行こっかなーって思ったんだけど、	A：陳述・表出(4/4)
	0012-2A：どーお。	A：情報要求
説得・断り①	0013-1B：ん	B：注目表示
	0013-2B：で、でも、大丈夫だよ。	B：陳述・表出
	0013-3B：でも、いるもん、いっぱい、人、新宿。	B：陳述・表出
	0014-1A：ほんとに↑。	A：注目表示
	0014-2A：なんかB（あだ名）が、	A：陳述・表出(1/3)
	0015B：／／ん。	B：注目表示
	0016A：いいよってゆってくれたら、わたしは行けるってゆう話を、	A：陳述・表出(2/3)
	0017B：／／{笑}	B：注目表示
	0018A：Zさんから、聞いたんですけどー。	A：陳述・表出(3/3)
	0019-1B：え、うん。	B：陳述・表出
説得・断り	0019-2B：ん、でも大丈夫だよ。	B：陳述・表出
	0020-1A：えー、	A：注目表示
	0020-2A：***ね、暇なの。	A：陳述・表出
	0021B：うん。／／{笑}	B：注目表示
	0022A：やることがないの。最近、	A：陳述・表出
	0023B：／／うん。	B：注目表示

②	0024A：赤坂、暇だから、	A：陳述・表出(1/2)
	0025B：うん。	B：注目表示
	0026A：新宿のお手伝いして、忙しいの久しぶりに体験したいな一と思って。	A：陳述・表出(2/2)
	0027B：えー、いいよー。家でゴロゴロしてなよー。	B：行為要求
	0028-1A：いや、	A：注目表示
	0028-2A：もったいないじゃん。	A：陳述・表出
	0028-3A：ほら、お金稼がたいし。	A：陳述・表出
	0028-4A：新宿店、	A：陳述・表出(1/2)
	0029B：／／うーん。	B：注目表示
	0030A：楽しいし。	A：陳述・表出(2/2)
	0031B：／／うーん。	B：注目表示
	0032A：手伝う、手伝う。	A：陳述・表出
約束	0033-1B：うーん、んー。{笑}	B：注目表示
	0033-2B：んー、／／いいの↑。	B：情報要求
	0034A：い、ねー、終わったら一緒に食べようよ。	A：行為要求
	0035B：うん。	B：注目表示
	0036A：／／いーい↑。	A：情報要求
	0037B：新宿のペイジンでね↑。	B：情報要求
	0038A：うん。	A：陳述・表出
	0039B：／／うん。	B：注目表示
	0040A：いーい↑。	A：情報要求
	0041B：いいよー。	B：陳述・表出
申し出の受諾	0042A：あ、じゃ、わたし／／行くよ↑。	A：情報要求
	0043-1B：わかった。／／	B：注目表示
	0043-2B：うん、いいよ。	B：陳述・表出
	0044-1A：うん、	A：注目表示
	0044-2A：Zさんにゆつといてね、じゃあ。行くって／／こと。	A：行為要求
	0045B：わかった。	B：注目表示
	0046A：／／うん。	A：注目表示
	0047B：わかった。	B：注目表示
	0048A：よろしくー。	A：関係づくり、儀礼

【終結部】

別れの挨拶	0049B：はい。	B：注目表示
	0050-1A：はい、／／	A：注目表示
	0050-2A：じゃあねー。	A：関係づくり、儀礼
	0051-1B：はい。	B：注目表示
	0051-2B：バイバーイ。	B：関係づくり、儀礼

(2) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩) (場面2)

【開始部】

相	0001C : もしもしー。	C : 注目要求
手	0002A : あ、もしもしー、	A : 注目表示
確	0002A : 先輩ですか↑。	A : 情報要求
認	0003C : うん。	C : 注目表示

【主要部】

事情説明・申し出／断り	0004-1A : あのー、	A : 注目要求
	0004-2A : が、今度、学祭あるじゃないですかー。	A : 情報要求
	0005C : うんうん／／うん。	C : 注目表示
	0006A : なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、	A : 陳述・表出
	0007C : ／／あー、うー。	C : 注目表示
	0008A : もし、わたしー、暇なんでー、あの、	A : 陳述・表出
	0009C : ／／うん。	C : 注目表示
	0010-1A : なんでも手伝うんで、	A : 陳述・表出
説得・断り	0010-2A : なんか手伝うことありますか。	A : 情報要求
	0011-1C : え、	C : 注目表示
	0011-2C : 平気なの↑。	C : 情報要求
	0012A : いや、	A : 注目表示
	0013C : でも、	C : 情報要求(1/2)
	0014A : 大丈夫です。	A : 陳述・表出
	0015-1C : 忙しいっしょ、そっちも。	C : 情報要求(2/2)
	0015-2C : だから大丈夫だよ。こっちでやるから。	C : 陳述・表出
	0016-1A : いや、もう、あたし、なにもすることないんで、ほんとに。	A : 陳述・表出
	0016-2A : バイトぐらい／／しかないんで。	A : 陳述・表出
	0017C : {笑}	C : 注目表示
	0018A : バイトまでの時間とか結構暇だし、学校いるので。	A : 陳述・表出
	0019C : あ、そうなんだ。	C : 注目表示
	0020A : ／／はい。	A : 注目表示
	0021C : え、じゃ、がん、バイトまでの時間とかは、	C : 行為要求(1/2)
	0022A : はい。	A : 注目表示
	0023C : ちょ、空いてるときー、手伝ってくれる↑。	C : 行為要求(2/2)
申し出	0024-1A : あ、	A : 注目表示
	0024-2A : 手伝います、手伝います。	A : 陳述・表出
	0025-1C : あ、	C : 注目表示
出	0025-2C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0026A : ／／はい。	A : 注目表示

の 受 諾	0027C : じゃあ、それ、お願いーい。	C : 行為要求
	0028A : はい。	A : 注目表示
	0029C : また、じゃあ、時間、	C : 陳述・表出(1/2)
	0030A : //はい。	A : 注目表示
	0031C : 連絡する//しー、	C : 陳述・表出(2/2)
	0032-1A : はい、	A : 注目表示
	0032-2A : わかりました。	A : 陳述・表出
	0033-1C : うん、	C : 注目表示
	0033-2C : いつでも来てー。	C : 行為要求
	0034A : //はい。	A : 注目表示

【終結部】

別 れ の 挨 拶	0035C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0036-1A : はい、	A : 注目表示
	0036-2A : ありがとうございます。	A : 関係づくり, 儀礼
	0037-1C : はーい、	C : 注目表示
	0037-2C : //お願いーい。	C : 関係づくり, 儀礼
	0038A : はい、はーい。	A : 注目表示

(3) 首都圏若年層女性ペア (同輩同士) (場面3)

【開始部】

相 手 確 認	0001A : もしもしー。	A : 注目要求
	0002B : もしもし↑。	B : 注目要求
	0003A : //はい。	A : 注目表示

【主要部】

本 所 有 の 確 認	0004B : ねーねーねーねー、あのさー、	B : 注目要求
	0005A : うん。	A : 注目表示
	0006-1B : あのさ、	B : 注目要求
	0006-2B : 北京で買ったさー、	B : 情報要求(1/3)
	0007A : //うん。	A : 注目表示
	0008B : 『ドラえもん』のさー、	B : 情報要求(2/3)
	0009A : うん。	A : 注目表示
	0010B : 本、まだ持ってる↑。	B : 情報要求(3/3)
	0011-1A : あー、	A : 注目表示
	0011-2A : 持ってる、持って//る。	A : 陳述・表出
依 頼 ・	0012-1B : ん、	B : 注目表示
	0012-2B : あれ読みたいんだけどさー、	B : 陳述・表出
	0013A : あーあー//あーあー。	A : 注目表示

受 諾	0014B : わたしが持ってるのと違う巻のやつ、貸してほしんだけど。	B : 行為要求
	0015A : あ、いいよいいよ。	A : 注目表示
	0016B : //いーい↑。	B : 情報要求
	0017-1A : 何巻かあったよね。	A : 情報要求
	0017-2A : //うん。	A : 陳述・表出
	0018B : うん。	B : 陳述・表出
	0019A : いいよー。	A : 陳述・表出
	0020B : // 8巻貸してー。	B : 行為要求
	0021A : もう読ま、ん、読んでないから、	A : 陳述・表出(1/2)
	0022B : うん。	B : 注目表示
	0023A : いいよー。	A : 陳述・表出(2/2)
	0024B : //わかった。	B : 陳述・表出
申 し 出 ・ 受 諾	0025A : じゃあ、持ってくね。	A : 陳述・表出
	0026B : うん。	B : 注目表示
	0027A : //じゃあ、	A : 情報要求(1/2)
	0028B : あ、うん。	B : 注目表示
予 定 確 認	0029A : B (あだ名)、いつ学校来んの↑。	A : 情報要求(2/2)
	0030B : 毎日。	B : 陳述・表出
	0031A : 毎日↑。	A : 注目表示
	0032B : うん。	B : 陳述・表出
	0033A : わたし、今度、水曜日行くから、	A : 情報要求(1/2)
	0034B : //うん。	B : 注目表示
	0035A : そんなとき持っていこうか。	A : 情報要求(2/2)
	0036-1B : うん、	B : 注目表示
	0036-2B : ありがとー。	B : 関係づくり, 儀礼
	0037A : いーい↑。	A : 情報要求
	0038B : うん。	B : 注目表示
	0039A : はーい、わかった。// {笑}	A : 陳述・表出

【終結部】

別 れ の 挨拶	0040B : はーい。	B : 陳述・表出
	0041-1A : はい、	A : 注目表示
	0041-2A : //じゃあねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0042-1B : じゃあねー。	B : 関係づくり, 儀礼
	0042-2B : パイパーイ。	B : 関係づくり, 儀礼
	0043A : はーい。	A : 関係づくり, 儀礼

(4) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩) (場面3)

【開始部】

相手確認	0001-1A : はい、	A : 注目表示
	0001-2A : もしもしー。	A : 注目要求
	0002-1C : あ、	C : 注目表示
	0002-2C : もしもしー、	C : 注目要求
	0002-3C : A (姓) / / さん↑。	C : 情報要求
	0003A : はい。はい。	A : 陳述・表出
	0004C : あの、C (姓) なんだけどー、	C : 陳述・表出
	0005A : はい。	A : 注目表示

【主要部】

本所有の確認	0006C : あの、『名探偵コナン』の漫画、持ってるってゆってたよね。	C : 情報要求
	0007A : はい、言っま、{笑} / / 言いました。	A : 陳述・表出
	0008C : {笑} その最新刊って買った↑。	C : 情報要求
	0009A : 買いました、買いました。	A : 陳述・表出
	0010-1C : あ、	C : 注目表示
	0010-2C :ほんとに↑。	C : 情報要求
	0010-3C : じゃ、	C : 情報要求(1/3)
	0011A : / / はい。	A : 陳述・表出
	0012C : 持ってる↑、	C : 情報要求(2/3)
	0013-1A : あ、	A : 注目表示
	0013-2A : / / 持ってますよ。	A : 陳述・表出
	0014C : よねー。	C : 情報要求(3/3)
	0015A : あの、いちばん新しいやつですよ。	A : 陳述・表出
	0016C : そうそうそうそう。	C : 注目表示
	0017A : はい、/ / 持ってます。	A : 陳述・表出
	0018C : それ、読み終わった、もう。	C : 情報要求
	0019A : 読みました。	A : 陳述・表出
依頼・受諾	0020-1C :ほんとに↑。	C : 情報要求
	0020-2C : あの、申し訳ないんだけどー、	C : 関係づくり, 儀礼
	0021A : はい。	A : 注目表示
	0022C : 貸してほしいなーって思っー。	C : 陳述・表出
	0023-1A : あ、	A : 注目表示
	0023-2A : 先輩も読みますか↑。	A : 情報要求
	0024C : うん。	C : 陳述・表出
	0025-1A : あ、	A : 注目表示
	0025-2A : いいですよ。	A : 陳述・表出
	0026C : / / {笑}	C : 注目表示

	0027A : 全然貸します。	A : 陳述・表出
	0028C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
申し出	0029A : え、んじゃあ、わたし持ってきて、持っていくんで、	A : 陳述・表出
	0030C : うん、うん。	C : 注目表示
	0031A : あした、学校のときに、また渡しますね。	A : 陳述・表出
	0032-1C : あ、うん、	C : 注目表示
	0032-2C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
予定確認	0033A : はい。	A : 注目表示
	0034C : //じゃあ、ま、	C : (未完発話)
	0035A : ゼミのときでいいですね。	A : 情報要求
	0036C : うん、いいよ、いいよー。	C : 陳述・表出
	0037-1A : はい、	A : 注目表示
	0037-2A : じゃあ、持っていきます。	A : 陳述・表出
	0038-1C : はいー、	C : 注目表示
	0038-2C : ありがとねー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0039-1A : はいー、	A : 注目表示
	0039-2A : いいえ、いいえ。	A : 注目表示
【終結部】		
別れの挨拶	0040C : よろ//しくー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0041-1A : じゃ、またあした。	A : 関係づくり, 儀礼
	0041-2A : //はいー。	A : 注目表示
	0042C : はいー。	C : 注目表示

執筆者

井上文子	(国立国語研究所時空間変異研究系准教授)
三井はるみ	(国立国語研究所理論・構造研究系助教)
松田美香	(別府大学文学部教授)
日高水穂	(関西大学文学部教授)
小西いずみ	(広島大学大学院教育学研究科准教授)
酒井雅史	(大阪大学大学院生)
森勇太	(関西大学文学部助教)

国立国語研究所共同研究報告 13-04

方言談話の地域差と世代差に関する研究 成果報告書

2014 年 3 月 31 日発行

編者 井上文子

発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所
〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2
電話 042-540-4300(代表)
<http://www.ninjal.ac.jp/>

©国立国語研究所

ISBN 978-4-906055-34-0

ISSN 2185-0127

ISSN 2185-0127

NINJAL Collaborative Research Project Reports 13-04

A Study of Regional and Generation Differences in Discourse Pattern

INOUE Fumiko (ed.)

March 2014

NATIONAL INSTITUTE FOR JAPANESE LANGUAGE AND LINGUISTICS

共同研究報告 13
| 04

方言談話の地域差と世代差に関する研究
成果報告書

井上文子(編)

国立国語研究所